京城日報

ニッポウ　ケイジヤウ

本紙定價
發行所　京城太平通一丁目　合資會社　京城日報社
發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　小川三之介

○米國、露國を援助す

華盛頓來電＝米國政府は露國の需用品に關し同國より確然たる回答の來るを待ち居るのみなり回答著來らば財政其他如何なる種類の援助にても之を爲す可しと（紐育電報）

○元帥軍進撃村落占領

ヘーグ元帥發表の公報に依れば英軍はエペイの東南方に進撃しヴイルスガイレイン村落を占領しラグニクール附近の陣地防禦を堅にせり（倫敦電報）

○敵砲二百門を鹵獲

天候倘ほ險惡＝英軍益々進出

英軍は九日以來敵の砲二百二十七門を鹵獲したり天候引續き險惡なるが而も十七日英軍はグゾウクールとヴイルレトとの中間に進出し且つラグニクノルへ南方にも前進せり（倫敦電報）

○西部佛軍の奮戰

敵陣地數ケ所占領＝捕虜獨兵夥し

佛軍はソアッソンとオウベリヴとの中間に於て各方面に渉る夜間活動を試みたるが西部方面に多大の便宜を獲得したり華々しき奮戰に依りて佛軍はジャヴォンー村落及びシヴイの全部を占領したるが之等陣地の東北に於て佛軍はプレイオンラオンネイ附近に達する土地を悉く其の手に收め獨兵二百五十名を捕虜とせり佛軍が占據したるヴイルオウボア地方に於て佛軍は敵の防禦陣地數箇所並に東北の森林を奪ひ敵兵四百名を捕へたり敵は重砲及び野砲を後方に轉送したるが佛軍は獨砲一門多數の機關銃及塹壕機械を鹵獲せり十六日以來佛軍の手に歸したる獨兵捕虜は一萬四千名に上れり（倫敦電報）

○英軍敵陣占領公報

十八日發表の公報に曰く英軍はサン、カンタン北方に進出してフピラースカイスラインを奪取せり（倫敦電報）

○必死的逆襲を撃退

巴里公報に曰く佛軍はソアッソンの東方に於て重要なる進出を行ひシイボンヌ及びシノピーを占領しシャンペースに於ては敵の必死的逆襲を撃退せり（倫敦電報）

○麵麭と平和を要求

獨逸大同盟罷工者の叫び

アムステルダム來電＝最近獨逸國内に起れる大同盟罷工に關し社會黨機關新聞フルワノツ紙は伯林の罷工者にして職務に復歸したる者はより多くの麵麭と政治上の改革と然して特に平和とを要求し居れりと宣言し獨逸政府が此の要求に應じて行動せん事を力說せり（倫敦電報）

○伯林暴動愈々重大

伯林よりの無線電信に依れば勞働者は麵麭を要求して市中を練り歩きつゝあり示威運動は漸次政治的色彩を帶び來りたり彼等は普國憲法を改正し即刻普通選擧を採用せよと叫び又クルツプ工場及び海軍工廠の職工は同盟罷業を斷行して此の運動に加はり形勢重大となれり（紐育電報）

○獨兵二千五百名捕虜

佛軍は十七日ランス東方に於て攻撃を進展し獨軍戰線十五基米突に亙りて其の第一線陣地全部を奪ひ更に同陣地を超へて突進せりモロンビラー南方にては我が軍は十一基米突の戰線と防禦堅固なる諸陣地とを奪取し更に東方に於て活潑なる行動に出で敵兵二千五百名を捕虜とせりソアッソン、ランス間の戰線にては我軍は再び獨軍陣地に對して猛烈なる砲撃を開始せりソアッソン、ランス間にて我が軍の得たる鹵獲せざる捕虜の數は今や一萬一千名と算せらる（倫敦電報）

○墺國の講和提議說

墺國政府は露國に對し講和を提議せりと傳へらる一說に依れば墺、勃、獨の三國は聯合國に對し單獨講和を提議せりと（倫敦電報）

○財政總長署理新任

財政總長後任に關する前電は誤報にして李思浩氏を財政總長署理に任ずる旨發表ありたり（北京特電）

○遞相政戰觀測

田遞相は憲政會は百四十名國民黨は三十三名若しくは三十四名にして政友會は百六十名の當選を見ること確實なりと云へり（東京電報）

○王交通次長渡鮮

王支那交通次長一行は神戸より臨時仕立の新羅丸にて途中宮島見物を爲し瀬戸内海の風光を賞しつゝ二十日朝下關着九時三十分發釜山に向へり（下關電）

○伊東憲兵少佐出發

伊東警務部長は二十日官民多數の見送を受け自動車を驅りて赴任の途に就きたり（全州特電）

◎春川の總督

十八日午前九時長谷川總督は宇佐美長官、帶同隨員と共に長官々舍より自動車を驅り憲兵隊本部、警務部、各學校、機業傳習所、種苗場、春川支廳等の視察を了へ正午十二時再び長官々舍に入り晝食を喫したる上午後一時三十分官舍出發歸京の途に就きたるが農銀支店前より送迎橋附近に到る沿道には前日の出迎と同樣盛んなる見送ありて雜沓を極めたり今當日視察の概況を記さむに

▲警務部　に於ては先づ部長室にて部長の詳細なる管内狀況報告を聽取し次で赤澤副官、菅井警部、田邊警部等の各所管事務に關する報告を熱心に聽取したる後衛生試驗室經理室を巡視し最後に日下警務部に飼養中なる豹の子を見物す

▲種苗場　に於ては場長津村技師の案内にて場内標本陳列室を熱心に視察しそれより機業傳習所に到り所長大富道書記の案内にて傳習室に入り傳習の狀況を親しく觀察時々質問を發する處あり頗る滿足の模樣なりき、それより春川支廳の視察を了へ更に公立小學校、普通學校、農業學校の順序により綿密なる視察を遂げたるが就中

▲農業學校　に於ては蠶業並に播種等の實習を普通學校に於ては農業の實習等に深く注意せられたるものゝ如く見受けられたり尚ほ總督は當日小學校、農業學校、普通學校及び韓英女書院、眞明女學堂の五校に對し巡視記念として多額の金子を寄贈したる由（春川）

◎定例長官會議

二十日は定例長官會議日なるより長谷川總督、山縣政務總監以下各部長官局長所屬官署の長等は午前十時より總督府第一會議室に參集通常政務に就き協議打合の上正午散會したり

◎荒井長官歸鄕

大正六年度朝鮮總督府豫算に關し中央政府と交渉の爲め東上中なりし荒井度支部長官は母堂逝去の急電に接し十九日夜上野發列車にて越後高田に歸鄕したる旨其筋に通知ありたり

◎領事團招待宴

本年の社交季節も終りに近づけるより久水外事課長は二十三日午後七時半京城内各國領事團員並に其の夫人令孃等二十餘名を朝鮮ホテルに招待し晩餐を催す由なるが當日は北京行の途次入京中なる駐日英國大使館一等書記官ベンデック氏も列席す可し

◎東郷中將入京

鎭海要港部司令官海軍中將東郷吉太郎氏は副官並に門少佐を隨へ二十一日午前九時馬山發同日午後九時南大門驛着列車にて入京の事となれり氏は今回初めての入京とて長谷川總督に敬意を表せし上約四日間滯京し仁川等を視察の豫定なり

◎ラ氏近く來鮮

紐育日本協會幹事ラッセル氏は其の友人ピップ氏と共に極東地方視察として愛に來鮮内地觀光中なるが更に四月末頃渡鮮す可き旨外務省より其の筋に通報ありたり

◎王交通次長通過

日支聯絡會議のため上京中なりし王交通次長一行は二十一日朝當地通過奉天へ直行の筈なり

◎松永長官觀察

松永京畿道長官は當永書記を隨へ二十一日午前八時三十分南大門驛發列車にて安城郡方面へ視察の爲出張同日歸任す

◎牧山耕藏氏優勢

長崎縣下郡部より政友會候補者として運動中なりし朝鮮公論社長牧山耕藏氏は頗る優勢にて長崎郡部にては殆んど最高點たるべしと

◎韓相龍氏歸京

三月初より支那滿洲視察旅行中なりし漢城銀行專務韓相龍氏及び同行副支配人韓翼教氏一行は廿日午後八時五十分南大門驛着急行列車にて歸京すべし

滿洲見聞録（三）

奉天にて　西海生

好景氣の奉天

▲奉天に著いて市況の近況を聞くと何人も異口同音ニコ〳〵乍ら上景氣だと話す、日本人は大正六年末までに人口一萬の堺を必ず開くさうだ、何しろ其の勢ひは街家に現はれた、二三年前まで鐵道附屬地も十間房も可なり空家が見られたけれど、此節じや、廣い市中を探しても空いた家と云ふは仲々見つからぬ稀れに家財を運び出した家があると、多くの時間の經たぬ間に新らしい住人は競爭的に入込む、從て家賃も高く家屋も小さい乍ら次から次に出來て行く

▲乃で一歩を進め何故上景氣かと聞いて見る、某銀行の支店長と某大商店の主人は交々語る、何と云つても奉天の市況を煽つたのは南滿洲精糖會社の事業著手である、此の會社は資本金一千萬圓、臺灣成金の荒井泰次氏等を中心とし、昨年會社成立其の四分の一二百五十萬圓の拂込みは年末に終へて了つた、其の出資の八割弱は內地より輸入し、滿洲出資の二割強中大部分は滿鐵で有つてゐる事業の目的は奉天附近の大平野で支那人に甜菜の栽培をやらせ、それによつて大に精糖を行らうと云ふにある

▲肝腎な原料たる甜菜の栽培は會社當局の努力、並に支那官憲の斡旋もあり、本年既に約二千五百町歩の大面積に及ぼした、それには栽培不成績の場合に於ける損害賠償とか、成績の良否による奬勵金の交付とか可なり色んな方法を講じた、かく栽培普及を進めると共に一方會社は本年新市街に四萬坪の廣大な地區を劃して大工場の新營に取り掛り、本年の秋期甜菜の收穫を行つてから、直ちに操業を開始する豫定である、斯くして約十萬噸の甜菜を得、年額九萬ピコルの砂糖を市場に出す計畫だが、此の九萬ピコルを滿洲の輸入糖に比較すると、其の約五分の一に過ぎないから、製品は充分に需給なき而已ならず尚ほ銷路の餘地は少なからずある

▲次に近頃傳はつた前奉天總領事現久原鑛業の理事小池張造氏が久原の事業として企畫して居る奉天精鍊所新設說も架空の話しでなく、既に人を派して諸種の調査を進め、初年度二十萬圓位の投資をするらしい、コレは今日奉天を中心としてドレ丈けの鑛物が出るからと云ふ確乎とした見込みで鑛物精鍊を試みやうとするのでなく奉天で鑛物精鍊を初むれば渠成つて水通ずの式に內陸各方面に於て其出づべき渠の成らざるため採掘せられぬ鑛物が、必らず多量に總て來ると云ふ採算の下に計畫が樹てられつゝあるのだ

▲之等が外にして奉天を遠からざる鞍山站の滿鐵製鐵事業、撫順の硫酸アンモニヤ製造の如き、は直間接に奉天に好影響を齎らし、市中の小企業も日本及び土地の資本の合同により成立せんとする窯業化學工業合同の牛骨よりニカワ、ゼラチンの類を製せんとする者あり昨年末より事業を初めた市各會社其他未發表の分も二三あるらしく之等は相俟つて市況を引立たしてゐる

▲更に其の好景氣の因由として見逃す可からざるは昨年來の銀價暴騰による輸入界の活況である、三井にせよ小寺にせよ共益社にせよ品物揃けた丈け捌けたと云ふ譯で出側は內地行き船腹不足竝に鐵道滯貨及び輸入界と反對に銀價の騰貴は買出し商品の高價を意味するため概して云へば不況だつたが豆油類の歐洲輸出は可なり盛況を呈したため大手筋の決算は必らずしも例年に劣らなかつたらしい要するに昨年の奉天貿易は順調であつたのは當然である

▲市中の金融も從つて繁忙らしい、又此の景氣が鐵道工事のためとか云ふやうな線香花火的のものでなく、少數乍ら新事業の著手計畫と云ふ根柢に基いてゐるのだから、奉天のために慶して好からう

◎北京郵電學生通過

北京郵電學校卒業生一行十七名は教官に引率せられ見學のため十九日夜南大門通過日本へ赴けり

◎東郷中將を招待

鎭海要港部司令官東郷中將入京に付き長谷川總督は二十三日頃氏を官邸に招待午餐會を催す可く總督府側より武官副官、秘書官其の他官房主要職員及び長官等列席の筈となる可し

◎隊署長恒例會議

京畿道警務部にては廿日午後一時より府內各隊署長を召集し隈部大佐主裁の下に恒例會議を開催種々打合する所ありたり

◎商議總會

京城商業會議所にては來る二十四日午後一時より總會を開催し豫算修正案其他を附議す

◎種苗講習會卒業式

京畿道原蠶種製造所にては蠶種製造短期講習會卒業生五十八名に對して二十一日午前十時授與式を擧行す

◎大阪財界片々

▲商船東洋航路　大阪商船東洋航路は從來の基隆起點を今回神戸まで延長せるが這は基隆碇泊期間一箇月を利用し神戸一往復をなさしむべく即ち臺灣總督の命令以外に會社自由航路となし以て昨今南洋行仕向荷物閑散なるを以て神戸よりの輸出貨物を積載するの企圖なるが猶ほ現在に於ける神戸基隆間の定期航四隻以外に月一往復の自由航をなし得る事となれるを以て同地行の旅貨物に對し頗る利便あるなりと

▲本邦滊船獨占　太平洋に於ける本邦汽船の配船數並に航海度數は外國汽船に對し約三倍以上に達せり即ち昨年下半期の調査によれば本邦汽船四十五隻航行度數七十五回外國汽船十三隻航行度數二十五回なり而して其の内譯は北方航路の本邦汽船二十三隻航行度數四十三回外國汽船八隻航行度數二十回又桑港航路に於て本邦汽船十一隻航行度數三十三回外國汽船五隻航行度數五回の割合なりと

▲目下の石炭界　目下石炭界は大保合の商狀にして賣手の方が却つて氣頭にて買手は何れも先安見越にて買遠りの傾向あり頗る閑散なるが今後の趨勢如何は今遽に豫測しがたきも昨今の商況より推考すれば自然買手の方より乘出す事となるべく結局炭價の上向は免かれざるならんか（大阪支局）

◎朝鮮甜菜糖創立

大日本製糖の姉妹會社たる朝鮮甜菜糖會社創立は過般創立委員を選定したるを以て來る五月一日より一株に付二圓五十錢の申込證據金を拂込ましむる事に決定したるが既に倍額以上の申込ありたりと

地方通信

仁川

▲小學校運動會　仁川尋常高等小學校にては二十一日春季遠足を行ふ可く其の行程は高等一二學年は午前九時より昌平郡桂陽山を迂廻する約十里尋常五六年男生は半方面の約六里同女子は朱安を經て文鶴山に至り約三里にて何れも同日午後五六時頃歸校解散の筈▲鮮人市況　春暖に向ひたる以來市況活氣を呈し季節物の賣行好調なるが諸物價高騰せると奧地方面に於ける農耕期に入れる爲め昨年に比し呼聲の大なる程の事も無かる可しと▲耕牛と肉價　農繁期最近となりたる爲め耕牛の需要頗に增加し牛價又騰貴の傾向を示せるを以て屠牛數減少したる者の如く仁川に於ける牛肉商は何れも値上げをなしたり

大田

▲清州の植林熱　清州郡佐々木二課長は大田聯隊軍旗祭參列の爲め來田千歳旅館に滯在中語つて曰く郡内に於ける鮮人の植林熱は最近二三年間に於て非常に勃興し本春に植付たるもの數百町歩に達せり這は畢竟するに從來原野山林の所有權が安固ならざりし爲め自然の荒廢に任せ來りしものが今日地籍を確實に登記し得る事と近來薪炭價の暴騰に鑑み植林事業の有望なるを感知したる爲めたるが本春の如きは清州地方に生產する苗木のみにては供給不足を告げたる爲め態々內地より苗木を取り寄せたる程なれば內地人にて種苗業の有望なるを見て苗木養成に著手するものの增加しつゝありと因に植林種苗の主なるものは赤松、黒松、落葉松、櫟等なりと▲幻燈大會　大田鐵道倶樂部に於て鐵道青年會より幻燈技師を招聘し幻燈大會を開催したるが來觀者五百餘名に達し非常の盛會なりしと▲庭球春季大會　大田庭球倶樂部は二十二日鐵道コートに於て春季庭球大會を開催する筈▲大田醫師會例會　大田醫師會例會を二十一日午後七時より春日町階上に於て開會し諸種の打合せをなす由因みに同會員は現在九名なりと▲停滯貨物　大田驛に於ける現在の停滯貨物は米二十六噸大豆百五噸合計百三十一噸なりと▲種痘終了　大田警察署管內に於ける春季種痘は本月十日より接種開始し同十五日に終了十九日檢痘したるが人員約七百五十名にして成績佳良なりしと

大邱

▲繩叺組合成績　慶北達城郡に於ては本年一月を以て繩叺生產組合を組織し爾來熱心に繩叺の製造に努力する一方大邱金融組合其他に依賴して之れが販路の擴張を圖りたる結果昨今に至り漸次製品の賣行好況となりたるもの如し因に本年一月以降四月十五日まで同組合に於ける繩叺製造高は四千枚に達し相場は目下平均十一二錢を唱へ居れり▲金融組合總會　慶南玄風金融組合は十七日正午より同組合倉庫前庭に於て定時總會を開き監査顛末の報告並に業務の報告に次いで決算書類の承認を求めたる後定款の變更、役員の改選を終り模範組合員の表彰式を行ひたるが更に午後四時半より出席者一同大昌舘に於いて晩餐會を催せりと

人事消息

▲土谷其若氏（北海道遞信局經理部長）　二十日朝退京
▲櫻井松太郎氏（淺野鑛山技師）▲今村俊氏（同社員）同上
▲吉村和氏（鐵道局技師）　十八日夜釜山發內地へ
▲アルバー氏一行（觀光團（米人））　同上
▲高橋公道氏（陸軍少將）　同上
▲田淵彦次氏（北京公使館書記官）　同上
▲菅松藤右衛門氏（農學博士）　十九日朝同上
▲岡本徳三郎氏（滿鐵社員）　十九日夜內地より釜山著大連に向ふ
▲大隅主計正（龍山經理部三等主計正）　十九日大田著千歳館へ
▲佐々木仁氏（平壤郵便局工務課長）　本月末家族同伴赴任の筈
▲渡岡重喜氏　市岸群島視察中の處二十一日朝南大門著列車にて歸京

逐鹿夜話

▲泣ても笑つてももがいても今二十日が各候補者の生死の決定日だが今回の總選擧程豫想の出來にくい事はなかろうが兎に角政府派非政府派の勝敗は大した差ではなかろうと云ふ處が各方面一致の觀測らしい左すれば來るべき議會の議場は又候隨分大騷ぎをやるのだろう就ては玆に一とつの問題と云ふのは議場整理の大任に當るべき議長は何人であるかである▲政府黨勝たば某々と未だ選擧の終らぬ內から既に各政黨本部の話題に上つて居るらしいが政友會ではいろ〳〵の關係から奧繁三郎君を推すのだらうと云ひ憲政會では恐らく藤澤幾之輔君に落ち付くのではあるまいかとの下馬評だが兩君の當落未定の今日左りとは餘りにお手廻しの早い話だ▲投票日が切迫と共に大分逆せた候補連中も多かつたらしいが之れは又た取り分けての逆せ方は東京から准憲政會候補者で名乘を上げて居る樋口勘次郎君政見發表演說會で堂々と大分メートルを揚げた迄は無難であつたが何と感ずつたか『諸君僕は愉快で堪らぬ一つ踊りませう』と演壇上で『高い山からノーオエ谷そこ見ればネ』を手拍手足拍手面白く踊り出した滿場タッタ十六人の聽衆は呆氣に取られながらも面白半分に囃し立てると樋口君益々得意になつて今度はズンベラ節をと又た躍り出した處へ書生が駆け付け漸く宥めて壇上から下ろし引上る段となると席料がない結局場主から警察へ訴へて大擱著の末席料三十二圓は廿二日支拂と宣言書の裏面へ借用證を書てやつと落著とは恐らく今回の選擧中の白眉だらう先づ此の目出度い處で本欄も切り上げる事にする

待ち詫び貌の櫻の蕾
上人を迎ふる準備整ふた本願寺

法主上人を迎へるよろこびに設備萬端著しく面目を更めた本願寺別院の

♣境內には 時待ち貌に楊柳が淡綠に煙つてゐる、本堂裏の庭前には杏、櫻が咲き揃つて春光を浴びてゐる、上人が著かれる二十五日頃から咲き出でるらしい

信者は頗る多數に上る事であらう、そして是等の人は二十八日に下仁さる法主の一行を送つて終ふと

♣苑かも盛 りに達した郊外の櫻を探るに最も好い時となる、地方から出京する人のために旅館の宿泊などは本願寺世話人と宿屋との間に交渉が出來て宿泊料の割引その他の便宜を圖る事となつた、然して汽車賃も二十人以上五十人までは二割以上三割の割引、五十人以上百人未滿の

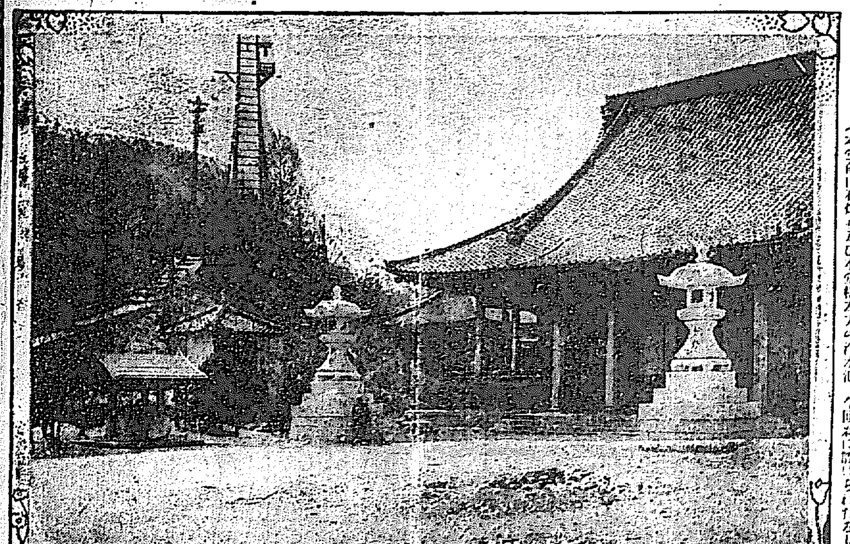
♣團體には 二割二分五厘乃至三割二分五厘、二百人以上二百人未滿の團體には二割五分以上三割五分以上の割引があるさうである、然し法主の隨行員は南條博士、大橋吾、沼法量、沼波政憲、高橋秀悟、大澤末吉、大塚正の諸氏である

◆南山天滿宮の大祭

京城神社攝社南山天滿宮は一昨冬正遷宮執行後殘部の工事進捗中の處昨今竣工したるにつき年々の恒例大祭を陽春繁謝の候たる四月二十五日と定め本年は來る二十五日其の第一回大祭を盛大に執行すべく目下準備中なるが餘興としては宮角力、博多二輪加其他種々の催しあるべく櫻花爛漫の際なれば定めて南山公園も時ならぬ賑ひをなすことなるべし

♣京城郊外 の櫻の名所、牛耳洞加五里の花も滿開になるだらう何よりも樂しとする御門跡の風姿に接して宗祖上人の御遠忌法要、追弔會、歸敬式に列しその

♣親教を聽き、隨行の南條村上兩博士の說教等を聽くべく遙々地方から參詣のために出京して來る



♣法主來錫を待つ南山本願寺
（本堂前に石燈が及び本堂横方の溶木池、今回新に設けられたるもの）

朝鮮には四度び目
今度は佛教美術の研究に來たお札博士
朝鮮では絕對に和服は用ひ無い

例のスタール博士は十九日夜南大門着列車にて入城し旭町旭館に投宿せり同博士の語る所によれば

今度は三ケ月ばかり京城に腰を据ゑて能ふ限り詳細に全朝鮮の風俗慣習や美術などの研究を爲る考へである自分はこれで朝鮮に來る事は四度目であるが最初は

♣千九百九年 に渡つて來た朝鮮に關する其後の二回と共に朝鮮半島に於ける人類學及考古學上の研究は日本渡鮮の際の研究で大略完了した考へであるが今度は更に歩を進めて從來餘り手を觸れなかつた佛教美術等の方面を研究して見たいと

♣寒氣と積雪 の爲め外金剛を見ただけで內金剛を見る事が能きなかつたから今度は滯在中に是非內金剛の絕勝を探る考へで居る今度朝鮮に渡つて來た目的は大體に於て述べた通りであるが猶自分は産業又は宗教に關する出版物は其の量に於て又種類に於て

♣相當に印刷 頒布されて居る模樣であるから其等朝鮮文の出版物を出來得る丈け多く蒐集したいと考へて居る」と猶博士は十七日福岡大學を訪ひ又附近の寺院等を觀たるが其の際博士は此の地方に存る佛像佛畫等に全く新羅時代の

◆お札博士スタール氏（十九日本社撮影）

手法と同一 なるものを多數に發見し古代此地方が朝鮮と最も交通頻繁なりしならんと其の一證を見る悅び去つて太宰天滿宮に參拜し境內の梅ケ枝餅の喫驚をくどり床几に腰を打掛けて燒餅に舌皷を鳴らし門司にて

♣和服を脫ぎ スッカリ本元の洋服に着換て連絡船に乘つたが博士は朝鮮に居る間は絕對に和服又は朝鮮服は用ないとの事である

北京收賄事件
警察廳の活動

北京警察廳は十八日來活動を開始し財務部收賄事件に就き取調中なり（北京特電）

臺灣談合事件

臺灣の談合事件檢察の爲め全島の請負業者は大恐慌を來せり（大阪特電）

獨逸人家屋大破壞
二百七十餘戸を襲擊して
ホテル大商店に放火す

リオデジャネイロ來電―ボートアングルに於て群集は獨逸人家屋二百七十餘戸を襲擊破壞し獨逸人俱樂部及ホテル大商店に放火せるが警官の力にては鎮壓し得ず火は伯剌西爾人民家に延燒せり騷動の原因は獨逸人經營のホテル前を通過の電車內にて乘客が聯合國萬歲を叫びたるに對しホテル內より一齊射擊を加へたるが爲めにして暴動は獨逸人の家屋內に侵入し貨幣鑄造器を發見したるが居住者は直ちに引致されたり同地守備隊は暴動延蔓防遏の爲め全部召集されたり（倫敦電報）

牛耳洞へ觀櫻列車
汽車賃の割引

牛耳洞及び加五里の櫻花は本月下旬爛漫たるに至る可く鐵道局にては例年の通り臨時列車運轉汽車賃割引を

△來る二十五日 より五月六日迄南大門淸凉里間に於て往復割引券を發賣し五枚以上の購求者に對しては發賣驛より無料にて配達する筈なるが二十九日の日曜には南大門倉洞間に臨時列車を運轉す其の時刻左の如し

往 南大門發 午前九時三十分 倉洞着 同十時十三分
復 倉洞發 午後四時 南大門着 同五時五十五分

割引は 二等（大人四十五錢 小兒二十三錢） 三等（大人四十五錢 小兒二十三錢）

行ひ觀客の便利を圖る可しと汽車賃

△復路の通用は 往路乘車の當日に限らる往十里滿南里及び議政府驛にては前記期間內倉洞行往復乘車券を發賣する由に付歸途に於ける切符買求めの手數を要せざる可し例年の例に依するに臨時列車は非常に混雜するにより切符は前以て購入し置くを便利とす

△牛耳洞行車賃 牛耳洞行花見客に對し車夫が不當の賃金を請求するを防ぐため憲兵隊にては今回倉洞停車場牛耳洞間の人車賃を片道金三十錢に一定せしめたる由

本社主催 南北滿洲視察團

波靜かなる星ケ浦に
―大連朝鮮銀行支店の園遊會―
大連官民の大歡迎晩餐會

朝鮮銀行大連支店の星ケ浦園遊會は十九日午後開催、大田鮮銀理事の歡迎の辭に次で阿部本社長の挨拶あり來賓は團員の外大連官民有志多數にして波靜かなる海濱

▽時ならぬ盛觀 を極めたり斯くて一行は再び電車にて滿鐵沙河口工場に至り廣大なる機關工場鍛冶工場木工場の作業を巡覽すかくて午後四時此所を辭し更に電車にて大連市街の大廣場なる大和ホテルに至るホテルの屋上庭園にては和生商業會所會頭の

▽大連に關する 一場の口演あり午後六時よりは更に大連官民の盛大なる大歡迎晩餐會あり席上大內民政署長の挨拶に次で尹致昊氏の謝辭あり斯くて阪野滿鐵理事の團員の爲めに萬歲を三唱すると共に阿部本社長又

▽大連の爲めに 乾盃するあり廣大なる大和ホテルの大食堂は日支官民三百餘名の歡聲笑語に滿ち同六時半宴を終りたるが頗る盛會なりき（大連にて特派員發電）

▷視察團より◁

◇鑛のやうな滿洲の金剛

▽滿洲名物の黃風―奉天 ▽鮮人大歡迎會―奉天 ▽車中の現地講話―滿鐵の ▽總裁振り―營口に到着

◇奉 天見物の十七日の午後は滿洲名物の黃風がドン〳〵吹き出した、黑い土色の磚瓦が積れた巨きな家も鑛のやうな楊柳の老樹もともに怒濤の如き砂煙にのまれてゐる、そこへ日本の兵隊さんが頗りに煙壕を造る演習をやつてゐた

◇正 午には城內萬海樓で奉天朝鮮人會發起の鮮人大歡迎會が催ふされた、主人側では會長鄭應高氏が熱誠なる挨拶を述べお客側では張[illegible]氏の挨拶もあつた、目下奉天省に在る鮮人は總數三十萬人なか〳〵盛なものである

◇奉 天の驛ではまた盛んなる萬歲！で送られた、內地人の見送り人までが一杯にマンセイ！に和して叫ぶところマンセイばかりである

◇車 中の[illegible]現地講話は歩兵第五十[illegible]中隊長の[illegible]と[illegible]とで[illegible]の[illegible]、此度の河岸に[illegible]き說明であつた

◇遼 陽から首山堡の麓を過ぎる時、あれが琵琶湖でお馴染の橘中佐の戰死したところ……と說明あり一行の感興は益々深くなる

◇鞍 山站の驛は昨今附近の大鐵山が滿鐵の手に經營されるとのことで南滿洲の人氣を一手に占めて居る鐵山は數年前木戶工學士の一行が附近の廟に遊んで偶然發見したもので近く廟の神樣も盛んにお祀り申すは當兒に角汽車の窓から見ても大鐵山の露頭が明かに見ゐるから大したもの、殊に鞍山站から遠く安奉線の本溪湖に鑛脈がつづいてゐるとは驚嘆に値する大鐵山、驛の附近は土地の買占めをやつた人があつたのでその次の立山驛に熔礦爐を建てることにしたとのこと

◇總 資本二千萬圓を以て今年中に八百萬圓を投じ從業員の社宅は湯崗子の溫泉に建てて電車で通勤させるとは何處までも滿鐵式である

◇滿 洲の金剛山なる千山の連峯は朧のやうに落暉を浴びて聳つ、一行は大石橋に午後八時著、それより三十分にして遼河々畔の營口に著いた、空には北斗七星が頭の眞上に輝いて居る、今日の午前中はひどい黃風が吹いたといふ（十七日夜營口にて金谷生）

◉國分令息結婚披露 李王職次官國分象太郎氏令息征哉氏は過般中島司馬之助氏令孃文子と華燭の典を擧げたるが二十日夜京城ホテルに於いてその披露宴を開くけり

◉正誤 昨日朝刊三面の『オトギバナシ桥と小人』のカットは『本社主催南北滿洲視察團』の誤に付訂正す

●連絡船上陸客 四月十八日

午前釜山入港高麗丸二等客 [illegible]

兵、磯部ふき、的矢恭光、同瑞惠、同百合香、的矢都督、大庭實照、村田篤郎、[illegible]、江口[illegible]、[illegible]、石本八右衛門、[illegible]

一等（十九名）高木契門、橋本傭平、同まさ、[illegible]、中田良典、立花[illegible]一郎、山崎是政、[illegible]、大島已之助、露國人六名、佛國人一名、英國人一名

二等（十五名）[illegible]、齋藤元信門、石渡信太郎、[illegible]、村田直治、前崎牛兵衛、[illegible]

一等（四名）時崎八郎、岡本德三郎、[illegible]、米國人一名

二等（十六名）田部久三郎、大前[illegible]、[illegible]

視察團募集規定

■募集規程 用紙は端書又は[illegible]同形の洋紙一枚毎に[illegible]住所氏名明記の[illegible]

天氣 晴れ時々曇り

商況

債券現物特電 東京
（二十日出來値）

東京市債	六三、五〇
京釜鐵道	六二、〇〇
朝鮮銀行	二七一、〇〇
滿鐵公債	一九、〇〇
南滿鐵道	一四三、五〇

東京公債直取引電

二十日出來値
五分利特別 九七、五〇
五分利公債 [illegible]
一二四分利 八一、二〇
甲號五分 九七、二〇

深川在米特電

二十日現在高
朝鮮米 [illegible]
內地米 [illegible]

東京期米特電

二十日前場
寄付 二〇、七三
[illegible] 二〇、七六
[illegible] 一七、四〇
[illegible] 一七、六〇

大阪株式

二十日前場 寄付 十九日
銘柄	寄付	十九日
大阪株式	[illegible]	[illegible]
東京株式	[illegible]	[illegible]
堂島米穀	[illegible]	[illegible]
同上新株	[illegible]	[illegible]
日本郵船	[illegible]	[illegible]
大阪商船	[illegible]	[illegible]
東洋汽船	[illegible]	[illegible]
同上新株	[illegible]	[illegible]
鐘淵紡績	[illegible]	[illegible]
東洋紡績	[illegible]	[illegible]
大日本製糖	[illegible]	[illegible]
日清製粉	[illegible]	[illegible]

大阪三品特電

二十日前場 寄付
限月	寄付
四月限	二〇、七〇
五月限	一九、六三
六月限	一九、四〇
七月限	一九、二四
八月限	一九、〇六
九月限	一九、〇三

大阪期米特電

十九日前場 寄付
當限寄付 一六、一〇
中限寄付 一六、四二
先限寄付 一六、九三 止め

下關期米特電

二十日前場
當限 一五、[illegible] 中限 一六、[illegible] 先限 一六、[illegible]

雜報

◉綿絲布愈々健實

昨日後場の綿絲現物先物共に[illegible]一圓乃至一圓五十錢方高值となり[illegible]

◉木材界の近況

對州材は運賃低

廉なる北海材又騰貴

遂に二圓臺拔

一圓五十錢高

◉精米二十錢高

◉土管の大需用

混亂狀態に陷る

◉麥粉更に氣强し

朝內移入品多

常消地方は約一二割高

高值を發表

二圓六十五錢の

十錢以上の值上又五

◉砂糖は不勢

一の十二圓七八十錢

◉新茶二回目入荷

初端相場は前年と變らず

◉精肉の拂底

二十萬尺〆の材木の不足丈移入材にて補充

近々值上

剩の依然供給能力過

硬くして[illegible]

平年の一倍

復值上又採算上

京城雜穀

南大門の廻穀

仁川現物市場

釜山穀物（十九日）

生魚市場

仁川期米

▲二十日前場

錢と小鈍き移り

市場零聞

▲依然保合ひ

仁川米豆取引所

二十日の六月限

前場	
寄付	十三圓五五錢
高値	十三圓六六錢
安値	十三圓四八錢
出來	七千七百五十石

平均值段	
一節	十三圓六五錢
二節	十三圓七二錢
三節	十三圓六五錢
四節	十三圓五〇錢
五節	十三圓五五錢

賣買取組高

限月	取組高	前日と比較
四月限	二萬四千五百石	
五月限	一萬三千四百十石	一一安
六月限	一萬六千八百五十石	一一安
十九日後場		

前場の手振 小變動を繰返し

▲⑥能く賣る

▲更に展開せず

▲市場閑散

▲期米目先觀

挿秧如何 降雨の量は大に

氣乘り薄 又復氣迷

押目は又底固

尻に有力筋の賣物潜

偏傾し人氣は稍買に

此大堆積米を殊に變質期に向つて如何に處分

此米の繫

㊀ 森仲買店 仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 電話店用長九〇五番 六二五番 本宅電話 八三二番

●來れ北漢山へ
北漢山中の絶勝を集めし三角山へ
山上の寶探し　名士現地講演

本社が八九年以前に四百餘人の大團體を案内して北漢山上三角山に登りしより以來春秋の登山者盛んとなり北漢山登りが京城年中行事の一こ數へらるに至りしは海に慶揚千萬なるが元來三角山は北漢山中の佳景勝觀を一所に集めし所にして秋の紅葉狩春の山遊共に京に近く恰好ての好機所となり道路も立派に改修せられたれば自動車馬車ならば直に其の山麓に至るを得乘馬ならば其の頂上に達する事も容易に非す

▲道程は獨立門を出で義州街道を進めば弘濟院の村落を經小山を越ゆれば衙把撥里に出で此邊旣に白砂青松加ふるに春花到る處に滿開す同所より右に本街道より岐れ之より愈々北漢山登山道に入りて進めば松林あり楊柳の村あり左に奉岩を爵す碑蹊を登ゆれば右方前面は漆黒の山骨行人の頭を掩はんこし九天より搖落せん快觀こそ即ち北漢山中の絶勝三角山なり獨立門より山麓迄約一里半餘同所迄は坂路と稱すべきものなし而して同所より登山を始め上る事約半路にして三角山城の大樓門たる大西門に至る門を入れば回顧の風色更に佳に入り前面は彼の俳壇の宿將高濱虛子君をして一見啞然たらしめたる數十萬疊敷もあらんと所謂千古の岩藻天半を掩ふ下清溪岩を嚙んで

▲脚下風雲捲起するかを思はしめ絶大の山色に接すべく猶ほ上れば清溪に沿うて山映樓なる一樓あり淵に仙裳の如し更に進めば左方大約鐘は道に掲たるが如き白雲臺は宛然巨人の群集を壓するが如き觀あり此附近に至つて山色絶好と云ふべし

◇山上の大寶探

櫻にはまだ早き日曜日の事とて本社の此の計畫は讀者諸君より望外の大なる贊同を博し既に團體其の他の申込み甚だ多きが故に本社は登山者諸君の興味を添へん爲め山上に於て大寶探を行ふ事に決せり景品には活動寫眞一等入場券あり上等煙草あり麥酒あり夏帽子あり藥あり日用品あり其他の物品頗る多く何れも登山者諸君の採取に任す事となりたれば山上の餘興丈けにても却々面白く愉快なるべし

◇山上現地講演

名士の講演は山上寶探しの場所たる重興寺跡と定め講士は在鮮二十餘年歷史地理の研究に熱心なる稻田春水氏が其の蘊蓄せし處を講演する事となりたれば現地講演として之れ又た諸君の大喝采を博すべし

◇懸賞付紀行文

何往本社は十圓の懸賞を以て登山者の紀行文を募集する事となしたり其の詳細は二十一日の本紙朝刊に掲載すべし諸君は此の機を逸して本年春季愉快なる登山の方法ありや

□最近の張督軍

奉天督軍張作霖氏は謂ゆる奉天の殿樣である、將軍が行政上には奉天省長の要職に當り軍事にはまた第廿七師（われの師團に等し）を統帥する奉天督軍である、即ち文武兼任の殿樣である、將軍が曾て京城の共進會に來た時は誰れもあの

◇眉目秀麗な貴公子風の人を將軍と思ふ者がなく却つて交渉署の馬廷亮氏と取り違へたこともあつた、雨亭將軍は海城の人とばかり決して名門の出でも門閥出でもない、將軍の邸は奉天城内の宮殿に隣る將軍胡同（街の名）にある、單に邸といつても日本などとは譯がちがふ將軍の邸は即ち奉天行省公署の堂々たる御役所である、試みに人馬織るが如き胡同の公署正門を入れば鼠色の軍服つけた六人の兵士が銃劍と紅毛のついた長槍を捧げて立つ、玄關をいれば政務廳もあり警察署もある、そして入口の所々には銃劍つけた兵士が居つて物々しい磚瓦の壁をかげに

◇十二三歲のきれいな少女が顏を出す、少女は張督軍の令孃であらう、將軍は今年四十三歲、今は押しも押されもせぬ奉天の殿樣、このうち將軍とイガミ合つた湯旅長も今は廣寧に居つて將軍もこれを討たうとはしない、今の旅團長は廿七が孫旅長で廿八が張旅長、とにかく奉天及びその附近にある四五萬の將士は一面中華民國の將士であると同時に將軍股肱の私兵である、趣味は格別ない方で唯だ馬道樂くらゐのものであらう、奉天財政長王樹翰氏の云ふところによれば將軍はお國（日本）へせひ一度行きたい希望であるが種々の事情の爲めまだ機會を得ませぬ、しかしそのうち參るでせう……今の邸は曾て

◇奉天將軍徐世昌氏の造つたものとにかく盛んなものである、しかし先日將軍が鄭家屯事件のゴタ〳〵が出た時不逞の徒が騷いだとかで邸の出入は極めて嚴重である、鄭讀は督軍が視察團中の記者に寄贈したこの頃病氣で一同に面會し得ないのを甚だ遺憾とするとのことであつた――（十七日滿洲觀察團幹部金谷生）

□各地の軍旗祭

◆平壤　平壤第七十七聯隊の軍旗祭は天氣晴朗なれど南西の風烈しき十八日午前十時より營庭に於て擧行されたり來賓には平壤鎭南浦は勿論遠く沙里院安州地方の人々をも見受け

△式場を中に　十重廿重に堵列せる參列の總員は無慮三千名と注せられた、軈て定刻となり劉喨たる喇叭の音鳴り渡れば野島聯隊長は嚴に擧式を宣し旭光燦として輝く名譽の聯隊旗は旗手の手に高く捧持され一同最敬禮裡に勅語を奉讀し了つて野島聯隊長より一場の訓示あり次いで甲種の分列式が行はれた、折柄の強風に白塵漠々と起りて轉た戰時を偲ばしめた

是れにて全く式を終ると共に來賓一同各中隊の營舍に導かれたが日頃は頑丈づくめに作られたる赤煉瓦の兵舍も今日は見違へる程に美化され然も質素を旨とする軍人の精神は茲にも遺憾なく發揮し凡ての裝飾造物は殆んど全部日常の兵營生活に用ゆる物のみを材料として美事に作つてあつたのには一同舌を捲いた斯て

△祝宴の開始　せらるゝや野島聯隊長の挨拶あり工藤道長官來賓を代表して賀詞と答辭を述べ市川旅團長の發聲にて天皇陛下の萬歲、鳥山稅審法院長の發聲にて第七十七聯隊の萬歲を三唱し遙かに牡丹臺一帶の戰跡を指呼の間に眺めつゝ盛大なる祝宴を擧げたのであつた

◆大田　大田步兵第七十九聯隊第二回軍旗祭は十八日午前十時より同聯隊營庭に於て擧行せられた定刻の午前十時に到るや

◎聯隊旗手に　捧持せられた新らしい軍旗は二名の軍旗護衛兵に衞られて豫定の位地に就く、聯隊長は副官を從へて馬上嚴かに捧げ銃の號令を下せば喇叭手の吹奏する『國の鎭め』が天地に響く、富塚聯隊長は馬を下り

◎軍旗の前に　進みて尤も崇重なる態度で式辭を朗讀し終つて分列式が行はれた斯くて來賓は營庭の片隅に紅白の幔幕を張り廻はした瀟洒たる宴會場に導かれ祝宴が開かれた、來賓と聯隊長との間には

◎萬歲の三唱　が交換され一方下士團は經理室で祝盃を擧げた營庭には各隊が各得意の意匠を凝らした作りもので賑ふた

◆大邱の櫻　大邱一の名所達城公園の入口の兩側に並んだ吉野櫻は今年は殊の外見事に咲き揃つたので終日公園に杖を曳くもの織るが如く實に稀有の賑を呈して居る、此の外大邱には驛前、府廳乃至其處の垣根彼處の路傍と可なりに多くの櫻が植ゑられてあるが就中驛前の百數十本は枝を折らるゝのと害蟲に蝕はるゝ爲め段々と其の發育を妨げて幹の割合に花の少ないのは殘念である（大邱）

●慘死せる武市氏の葬儀　十八日佛國にて墜落慘死せし武市氏の葬儀は佛國陸軍の多大なる好意を受けて取行はれたり（大阪每日）

●衞戍病院觀櫻會　龍山京城衞戍病院後庭の櫻花は京城櫻名所の一なるが昨今殆んど滿開の見頃なるより二十一日午後一時半より觀櫻會を催し猶當日は看護卒の運動會ありと

●神社氏子總代會　京城神社氏子總代會二十一日午後六時より京城ホテルに於て開き左の件を附議すべしと云ふ

一、大正六年度收支決算
二、社務規程、會計規程等制定の件
三、恒例大祭神事用として鳳輦御羊形購入の件
四、稲荷大明神大祭本四月二十五日執行の件
五、會計檢査役選擧の件

●荒井長官母堂逝去　度支部長官荒井賢太郎氏母堂すゞ子刀自は十九日午後一時半越後高田一橋の自邸に於て逝去せり

□腦神經諸症の治る喜びと治らぬ悲み
（附）酒の害を防ぐ法　腦を健にする法

□何故治らない？

腦病、神經衰弱、ヒステリー等に惱む辛さ悲しさは想像も及ばぬ處である治し度い治し度いとは誰しも夢の間も忘れぬ所、少しでも良いといふ事は大槪試してみる。それでゐて未だに治らぬ人がある。何故だらう。

□多くの人の誤る點

其れは手當の仕方に手落があるからである。あれかこれかと種々の藥に迷ふた揚句、少しも効果が見われぬ爲め悲觀して段々病氣を重くする。それから規律正しい日常の養生法を少しも守らない人が多い。要するに心で心の病氣を一層重くする有樣である。それでは何日迄掛つても效驗は無い。宜しく最も信ず可き腦病藥を服用して、起居食物に注意し、雜念を避け適度の運動と靜養を怠らず行へば治るものである。然らば信ず可き藥とは何であるか。其は『島村醫學博士が有効を證明』せられたる腦神經病特効藥『健腦丸』である

□實際によく効く

健腦丸は何故信用があり、廣く用ひられるかと言へば、一口に云へば實際に能く効くからである。腦神經の營養となり、腦を整へ神經を鎭める効き等は從來の藥に曾て見ない處である。それに腦病の各徵候、即ち、頭痛、逆上、便秘、眩暈、憂鬱、元氣なく健忘、不眠等に偉大なる效がある、とりわけ便通を快くして逆上を下げるといふ事は學理上、實際上、腦病を快癒する前提として尤も肝要な事である。健腦丸は其點に於て誠に快く、早く、且はつきりと効の著しい事は服用せられたる患者の實驗せらるゝ處である。

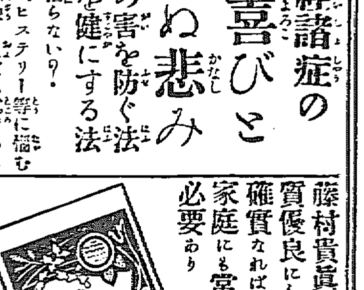
□信用のある譯

健腦丸の調製所は、ナイス發賣元として有名なる大阪丹平商會が設備完全なる製藥場で製剤してゐる。幾多の專門藥學者が日夜實地に研鑽して原藥を選びて調製したのが健腦丸である。每も日本に於ける腦病藥中第一位の製劑高を有してゐる。

□飮酒家と腦を使ふ人

健腦丸は飮酒家に敢り易い、腦充血卒中、中風、等を未然に豫防し、常に腦を過勞する人は服用して腦の作用を明晰にし記憶力を增進する特效がある。藥價は四回分廿錢から十週分五圓迄種々あつて、若し最寄にない場合は大阪心齋橋二丁目、丹平商會本店、東京日本橋箔屋町丹平支店へ直接御申越下さい。

藤村貴眞膏は品質優良にして効力確實なれば何れの家庭にも常備する必要あり



かたのこり、うちみ、きりきず
定價 一個金二錢 徳用三個包金五錢 七個包金十錢 十五個包金廿錢 キレ裂一個五錢
す、リウマチス其他こりに速効
京都市東洞院三條下ル　正本家　藤村壽榮堂　電話中八四九番　振替大阪七〇九五番
◎各國到る所にあり
代理店　京城南大門通　新井藥房

諸機械、工具、製造販賣商　東京市本所區德右衛門町　本德商店　電話本所八二〇

一厘のたきつけ
燐寸一本で炭薪石炭に直ぐ燃付く又無臭無煙危險を要せぬ至極重寶な發明品です
●特約販賣希望の方には大割引にて御相談申上候
見本御入用の方は郵券五錢御送附あれば御送附
大阪道頓堀下大和橋北詰東　たきつけ屋　電話南二〇九九番

お花見洋傘賣出　二十一日ヨリ十日間
お徳用で安くて強い
本年最新流行
ケンチユ洋傘其他
絹張洋傘色々大勉強
◎學校行子供用傘各種◎
京城本町一丁目　高木旅行用具店　電話一三四番　振替京城三四番

新菓　金剛山
靈山金剛山産の松花を以て調味し之に雄大なる金剛の勝景を模寫精製せしもの名づけて『金剛山』と云ふ高尙優美にして味亦美なり朝鮮人傳へ云ふ松花は松質と共に不老長生の靈藥なりこ
京城本町二丁目　電話二七四五　龜屋商店

本町清香園の夜櫻開始（本日より）
本町小公園の推賞を得たる園內數十株の櫻花は今や笑を湛へて江湖の觀客を迎ふるの風情殊に散在せる八重櫻は弊園の特有物で其の艶麗なる姿は天下一品であります
上野と祇園を模倣し各樹下に優美なるボンボリを配飾し篝火を點じ夜間はアークライトに爛漫たる園內の風色を映寫し不夜城裡の光景は誠に京城唯一の歡樂場と存します
特に弊園は家族的娛樂場として御婦人御子供衆の御來遊を希ひます爲め園內各所にしること、壽司等の模擬店を新設し誰方樣にも御氣に召す樣に遺憾なく用意致しをりますから何卒御家族樣御同伴にて是非一度御來觀の程伏て奉願上ます

獎忠壇のお花見は廿二日頃が眞盛り
□春の遊山　には獎忠壇の當工場が最も適當の場所であります
□來廿二日（日曜日）には平素の御愛顧に酬ゆる爲め當工場を一般に開放して御觀櫻の便に供します
□尙は當日　は御觀覽を斷つて居ます漢陽高麗燒の實況を開放して御覽に入れますと供に
□高麗燒　の倉ざらへ品の破天荒の廉價に御需に應じます
□休憩場　は一般に御使用御勝手、人蔘茶の無料接待を致します
□御便宜　の爲めビーヤホール、ミルクホール等の設備も致してあります
京城東四軒町（獎忠壇）　海市商會漢陽高麗燒工場

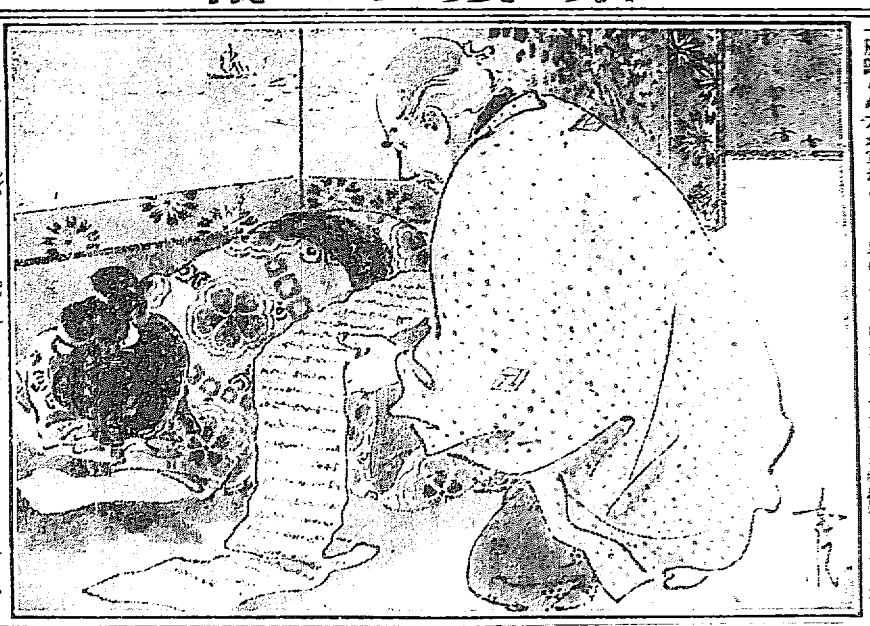
四月十八日午後釜山入港壹岐丸一二三等客　三等（三百〇九名）
十九日午前釜山入港さくら丸一二三等客　三等（七十九名）
十九日午後釜山入港對馬丸一二三等客　三等（二百八十三名）
三等（百五十三名）

△物は付「落ちるもの」　同廿三日　同廿四日
△謎「花見と掛けて」　同廿四日　同廿五日
△一口噺「其時々の事」　同廿五日　同廿六日
△下句付「日和見が」　同廿六日　同廿七日
適告者には五十錢賞券を呈す　何書何號と明記に限る　宛名は京城日報編輯局募集係

明君道中記

第百二十一席　田邊南龍口演

植木の娘おいねが臨終の際に認めたる遺書、始めは大工の與三郎と親の許されぬ不義を働き洵に申し譯なく、然るに與三郎が一昨夜御城内を脱出して參り御普請の模樣を承はつたる處、容易ならざる御普請で何うやら此度將軍樣御城内へお泊りの時に討ち參らせやうと云ふ樣なことに思ひまする故、其の御普請が出來ますれば御城を出ることが出來ないから一所に迯らぬ方が宜からうと止めましたのを、責めて棟梁だけにでも話しをして伴れ出したいと云つて立戻りました、然るに今朝小間物屋忠兵衛の話しに棟梁始め殘らず御家老の爲に斬られたといふこと、御父樣には濟みませんが二世と交した與三郎殿が相果て見れば此の身も存命いたし居る譯にはなりません、冥途へ參つて夫婦になる心得、先立つ不孝の罪は何うぞお免し下さる樣、又此の遺書を證據として御役人樣へ願ひ將軍樣の御一命を御助け申し上げ下さいませ、まだ〱申し遺したきこと山々ございますが最期を急ぎます故と筆を止めた、それを机の上に載せて流石は植木藤右衛門の娘武家奉公もしただけあつて悉皆支度いたして見苦き姿をしない樣に、膝をグル〱扱帯を以て卷き用意の懐劍を取出して咽喉をグサと突立て美事自害をいたしました、小間物屋が踏つた跡で與へ參つた下女のおしま「お嬢樣、あの忠兵衛がお喋舌りでとんだことを申し、お氣に障つて洵に申し譯がございません、あの將軍樣が御城内へお泊りになるに就てもうお成りになるといふことでございますからお支度を遊ばして拜見に行らしつては如何でございます、妾もお供をいたしますアノお嬢樣」呼んで云へども返事がございません、襖を開けて中へ入れば、コハ抑も如何におねは俯伏になつた儘其の邊りは唐紅、餘りのことに驚いてアツと云ふとおしまは其處へ尻へに仆れたが、やうやうのことで立上り早速藤右衛門の居室へ來て　しま「旦那樣大變でございます、お嬢樣が死んでお在でございます」と聞いて藤右衛門「何を云ふ、娘が死んだなぞと忌儀でもない、未だ寢て居るのだらう、今日は御社參に就て將軍樣も御城内へお成りになる、生涯一遍拜見が出來るか出來ないか知れないと云ふこと、お前も早く支度をして娘の供をして行くが宜い」しま「イ、エ嘘ではございませんお嬢樣は御自害をしてお在なさるので、四邊は血だらけでございます」と聞いて藤右衛門も不審に思つたが、娘の居室に來つて見ると吃驚した、成程自殺をして居る四邊は血汐に染つて居る「ウーン」是れおいね、狂氣いたしたか、亂心したか死なで叶はぬことがあるならば、何故一通り此の父に話してはくれぬ、怎麼ことでも背いて退られぬことはないものを、早計た事をした、何ういふ譯で自害をしたか」と呼べど叫べど答は更になし不圖傍の遺書に目が付きました披いて見れば右の次第御城内のことが一伍一什細に認めてございます。驚いたる藤右衛門暫は御領主樣が將軍樣を討まゐらせ御企望みのあることに相違ない、然し今此の泰平の世をば如何なる思召にて左樣なることをなさるゝか、將軍樣を討ちまゐらせんとは容易ならざること、此儘御城内へ將軍樣がお乘込みになれば夫こそ天下の一大事、例へ御領主樣なりとも多くの人の難儀になることなれば是は猶豫をいたして居る場合でない、早速此の事を御訴へ申し將軍家の危きをお救ひ申さねばならないと藤右衛門は遺書持つて立上りました。



花柳病 皮膚病　須古醫院　京城府永樂町一(商品陳列館通坂上)　電話二一〇二番

五月幟　龜屋染工場　友仙染 友禪蒔絵(?)　電話三四八番　京城本町二丁目

四月廿二日　九星　舊暦三月二日　甲午　本命七赤　西　平　佛滅

▲七赤 ▲八白 ▲九紫 ▲一白 ▲二黒 ▲三碧 ▲四緑 ▲五黄 ▲六白 ……

演藝案内

御成座　御成町 電一九一
新派 異劇 静間三郎一行
一、帝國日報當選 猛士氏作 黒髪　全六場
二、新比翼塚　全五場
出演俳優(イロハ順) 石巻勝之助、花岡香、神村三吉、川上深太郎、川上珠、高松正、津田時男、大和榮、矢野助次郎、小松奈夫、淺川明、宮村一水、三島徳、清水徳、小役小静、香子、静間三郎

壽座　京城壽町 電話五七八番
今様能楽家元紫泉會
四月二十一日(六日目能)午後六時開演
鞍馬天狗　泉松代、佐藤四郎、大村榮治、小林東平、多田晋次郎、菱田龍三
▲田村　泉松代、宮多村初子、大村榮治、小林東平、菱田龍三
▲鐵輪　泉 佐藤四郎、大村榮治、小林東平、多田晋治郎、菱田龍三
夜討曾我　泉 佐藤四郎、大村榮治、小林東平、多田晋次郎
狂言 ○伯母ケ酒 菊野武雄 生月嶺　▲千鳥 泉鶴三郎
▲宗論　▲附祝言
十人以上の團體及五回以上の回數劵御買求めの御方へは特に二割引可致候
一等金七十錢、二等金五十錢、三等金三十錢

有樂館　早川演藝部直營　電話一一〇九番
四月十九日より提供の封切特選大寫眞
伊太利チネス社作　ヴェニスの河口　悲劇　變つた姿
▲泰西活悲劇「死の陰」全三卷
▲舞ひ扇　全三卷
▲平家の忠臣悪七兵衛景清一代記　全五卷
……

浪花館　明治町 電話二六〇
女優 吉田奈良女一行
▲女優劇 …… 西郷隆盛 ……
ナポレオン …… 江戸の花 ……

黄金館　電話 二三七六 六五三
天然色活動寫眞 …… 提供
▲新劇泥棒 …… 天狗
▲活劇拾時の秘密
▲新派活悲劇命懸け ……

大正館　櫻井町 電話八七三
日本活動寫眞株式會社 ……
○新劇「井上大九郎」全三卷
○軍事活劇「第八快漢ロロー」全四十卷
○新派悲劇「不如歸」全六卷
……

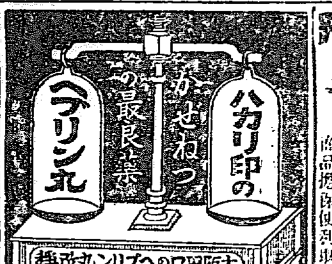
新派三大悲劇中の一隨
徳富蘆花先生不朽の大作
『不如歸』劇
日活會社が五ヶ年計畫大成功
新に完成せる
未聞の大寫眞
大正館　廿日上場

謹啓時下春暖之候各位益々御清穆奉大賀候陳者鈴木くに儀本町一丁目五十番地に女髪結致居り候處御得意樣方のし御勸めに依り去月上京東京女子高等美髪學校へ入學修業を罷在候處今回に修業の過程に優等の成績を以て卒業仕候間何卒御引立の程偏に可然御願申上候　敬白
京城本町一丁目五十番地　鈴木留守宅

わきが　一アーサー「を御用ひあれ藥價六十錢一圓にて今迄彼是と他の藥を用ひ効なき方は
京城黄金町二丁目　電話二九四九　山田文殊堂藥房

解傭廣告
店員　巽鶴松
右の者今般都合に依り解傭仕候に付自今弊店と何等關係無之候間此段廣告候也
大正六年四月十九日
仁川　福西製粉所

花柳病 外科 專門
●梅毒 ●淋病 ●横痃 ●肛門病 ●泌尿生殖器病 ●皮膚病 ●婦人病 ●子宮病
六〇六號注射 神經痛 痔 包莖手術 ヒステリー
京城南大門通 其他 皮膚 毎日
司生堂醫院



質
大口歡迎
京城黄金町長橋町入
電話二九一六番
田村質店
商品擔保便利取扱

婦人衛生手引
衛生進歩第次進呈
(係長郵券二錢)

主治効能

㋑子宮病子宮内膜炎にて白帶多く前擬れ又下腹腰足の引つり痛む人
㋺婦人神經(ヒステリー)血道にて氣鬱癇高ぶり物を苦にし夜眠れず
㋩月經不順月經滯り等にて吹出物多く又何んとなく身體惡しき人
㋥逆上頭痛眩暈し肩こり腰足冷え㋭息切れ動氣強く手足痺れ水腫れ
㋬十七八歳になりて月經なく血ぶとり又た月經の前後に下腹痛む人
㋣白帶赤帶帶下多く顔色蒼白き人㋠冷症にして難産流産の癖ある人
㋷産前何となく常ならざる人。嘔吐産後古血の滯り。或は日立惡しく
㋦其他子宮血の道月經不順に起因する諸病にてぶら〱と惡しき人

定價
二日分　拾五錢
四日分　廿錢
一週分　六十錢
二週分　一圓四十錢
三週分　一圓六十錢
五週分　二圓五十錢
十週分　四圓五十錢
加減藥あり容態詳しく御申込みあれ
定價一週七十五錢　四週二圓五十錢

中将湯

本舗
東京市日本橋區通四丁目
津村順天堂本店
振替口座 六〇八番　電話本局 (六十二番 六十三番)
大阪市堺筋大寶寺町南入
津村順天堂支店
振替口座 四〇六番　電話南 二十五番

中將湯は世界到處の藥店にあり市内配達無料

花から青葉に
季節の移る今日此頃は
婦人血の道の起る時

罹らぬ前の用心
罹つた後の療法は
婦人良藥
中将湯
を召せ

血の循環を調へ鬱を拂ひ
元氣を増すが何よりも
効驗確實で一番安全

京城日報　第三版
四月廿一日（夕刊と合せて八頁）

▲二十日東京[illegible]

▲後場の手振 [illegible]

後場　寄　十三圓〆四錢　止　十三圓〆六錢

二十日の六月限
四月限　一萬一千四百五十石
五月限　一萬六千六百五十石
六月限　[illegible]

[illegible]自殺を遂げ居るを妻宋氏が發見し[illegible]報に接し水原署より係官、醫師出張し應急手當を加へしも蘇生せず檢視[illegible]

大唐平百濟碑

菊峰生

百濟の故都扶餘より拜呈。今頃は内地も選擧騷ぎの最中と遙想致候。小生は期して此地に於て、名所舊蹟の探訪に忙殺せられ候。去る一日、後一時二十分出發、湖南線に乘換へ頃より、雲上の好天氣も、漸く落日と相成、漸く大田驛を出で候。汽車論山に到るや、所謂る三南の沃野平疇は、展開せられ、朝鮮米産地の本色は、一望の中に看取せられ候。此れより人車にて扶餘に向ふ。此の道路は、三等道路と申せども、先づ内地の一等道路と相匹し可申候。但だ折角植付けたる並木の明石屋樹を、動もすれば変伐し、毀折するは、例の朝鮮人の悪習慣として、致方なきも、今一層取締りたきものに候。此の道路や、自動車を驅るに、何等の妨げなし。然も凡そ小流、溝渠の貫く所、悉く皆な崩壞せざるはなし。昨年の水害想ふ可し。朝鮮即今の急務は、林政と、水政とにあり。今や林政漸く緒に就かんとし、水政未だ緒に就かず。是れ新當局者の方さに努力す可き、要務の一ならん歟。車は乾坪里より漸く丘陵、山岳の間に入り候。扶餘に達する約一里の所に、出迎の萩原大尉、佐々木和書記等の案内にて、道傍の岡阜に上り、一帶の百濟の古墳を見物致候。蒲山皆な古墳、而して何れも石棺にて、殆んど悉く發掘し盡され、唯だ棺材のみ此處彼處に露出し候。此れより青馬山城の土壘を仰ぎ望み、更らに四野、黑板博士等によりて、發掘せられたる、傳稱百濟王陵等を見、百濟東門址を過ぎ、半月城址を當面に眺め、吉野櫻の萌漸く紅ならんとする、並木の街を過ぎ、扶餘旅館に著したるは、六時頃にて候。五里餘の道程に、三時間を費したるは、畢竟途中に道草を喰ひたる結果に候。旅館よりは遙かながら、大唐平百濟碑を眺め候。此塔が今より一千二百五十餘年前、唐の顯慶五年に設立せられたるを想へば、人をして坐ろに、萬古千古の意を催さしめ候。夜は旅館にて、當地有志の招待會あり、實は斯る催しは絶對に斷り居候處、事後承諾との強制にて不得已出席致候。併し出席したる上は、其儘引下る譯にも參らず、仍りて平濟塔に關する、偶感一則を陳じ置き候。

蓋し平濟塔は、唐の勢力が、朝鮮に及びたる記念碑たると同時に、日本の勢力が、半島より驅逐せられたる記念碑也。而して此碑に對して、現時の狀態を見れば、昨非今是の感と申しても可也。而して此碑や、日本人とても、時としては敗北せる事あるの證據を、間接に示したるものとすれば、油斷大敵の碑と申しても可也。然も一敗再起、久しきに彌りて、其の目的を遂するは、大和民族の本領也。帝國の半島に於ける失敗の、やがて内地に於ける、天智、天武兩天皇の、帝國統治機關整頓となりたるは。恰も彼理の浦賀闖入が、やがて維新の風雲を激起したるが如き也。乃ち此の碑や、民族彈力の碑と云ふも妨げず。而して吾人をして此の碑を距る數百歩の地に、今夕の如き宴會を開かしむるは、是れ誰の力ぞや。第一には明治天皇の御聖德に依る也。第二には維新先輩の獻的努力に依る也。第三には民族の發展に依る也。彼を想ひ此を思へば、感慨無量也。以上は其の要旨にて有之候。小生は此にて御免を蒙り、直ちに快眠、百濟の夢を見るべく、餘は後報に讓り候。

大正六年四月十五日午前五時半、蛙子の聲や、犬の聲や、鷄の聲を聞きつゝ、扶餘旅舘に於て認む。

北漢山登りは明日

▲午前七時半獨立門に集合八時出發
▲辨當水筒は各自御携帶のこと勿論會費は一文もいりませぬ
▲十七歳未滿のお方と年を取つたお方と御婦人は御同伴がなければなりませぬ、道路もよければ御婦人達でも容易に上れます
▲踏路は山上で解散しますから何の方からお歸りになつても宜敷です
▲山上での餘興は左の通りです

寶探し

場所は重興寺跡‖賞品には麥酒、煙草、夏帽子、藥類其他日用品澤山

▲里程及び時間は左の通りです
▲獨立門から山麓迄約一里半餘　山麓より三角山重興寺跡迄約半路です
▲八時に獨立門を出發すれば十時には山麓に達します‖山頂には十一時頃到着する事が出來ます‖[illegible]‖道路は京城の北門通りを選べば一時間も[illegible]
▲山上の現地講演は京城の地理歴史家として有名な稻田春水君が擔任せらるゝ事になりました
▲此の登山會の記念として登山者は何人でも左の規定に從て懸賞紀行文に應募する事が出來ます
▲懸賞金十圓‖一等一人五圓（郵便切手）二等一人二圓（同上）三等三人各一圓宛（同上）都合五名‖應募者は當日の登山者に限ります‖文體は御隨意です‖必ず當日の出來事を挿入する事です‖論は取りませぬ‖原稿は一行十六字詰百行以内字體明瞭‖宛所は京城日報編輯局登山文藝係御中と朱書せらるゝ事‖原稿には必ず雅號の外住所氏名を書す事

會費不用有益有趣味

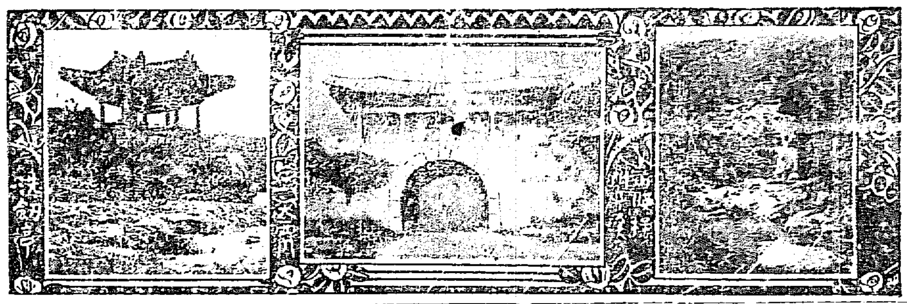
京城日報社
毎日申報社

滿洲の製粉業（續）

有利なる包米粉　素より南滿洲の小麥産額は大正四年度に於て百十六萬九千石に上り原料として幾分の供給餘力を有するも之を包米（玉蜀黍）の年産額三百十九萬五千石に比すれば其供給中は僅かに其三分の一に過ぎざるべし殊に小麥は公主嶺、長春及び以北地方には多く産出するも以南に於ては四平街鐵嶺を除けば栽培甚だ尠なく唯鐵嶺附近に於て

△鐵嶺製粉會社が種子を頒ちて播種を奬勵せしより稍生産額の增加を見るに至れるのみ、包米に至りては南滿洲一帶平坦の地方に在りてこそ栽培少きも黄包米は一般に栽培せられ而かも土人常用の方法によりて製粉して包米麵を作り包米百斤より上等は八十八斤下等は七十五斤を得小麥百斤より上等は八十二斤下等は七十斤内外の小麥麵（粉）を得るに比して大に優る所あり又小麥及び包米の含有成分を見るに双城堡産の小麥は水分一一、八二%脂肪一、六四〇%蛋白質一六、四五〇%澱粉質六五、〇〇九糖分一四、〇九三%纖維二、八〇一四%鑛物質一二二六七%を有し長春産のものは水分一四、〇〇四脂肪一、八二四蛋白質一七、五〇〇澱粉六一、七〇五糖分一六、九二七鑛物質二、〇四〇%にして包米は水分一〇、六五八脂肪四、六四四蛋白質一二、一九八澱粉五九、六〇八糖分二、二五一粗精六、六一五纖維二、五四二鑛物質一、四八の成分を有し

△其含有澱粉量に於て双城堡及び長春産の小麥に稍や劣るも其澱粉質と糊精とを併すれば長春小麥に優り双城堡の小麥に劣らざるべく以上其産額の小麥に約二倍せる包米を利用して澱粉の製造を行ふを以て更に有利なりとせざるべからず（完）



奉天より

△久原出張所新設　滿洲は鑛業の共に[illegible]有望なるに拘らず未だ鑛物の鑑定分析等を爲すの機關の設せられず[illegible]支那人等は漸く[illegible]式の選[illegible]法に由り一金銀の分析を試みる[illegible]の[illegible]鑛[illegible]の乾式法（[illegible]）を用ひて[illegible]其[illegible]を[illegible]新する事[illegible]なるを[illegible]一部人の外は[illegible]有する一部人の外は[illegible]するの[illegible]鎭南浦の久原鑛業所に之れを[illegible]するの狀況なり去れば同鑛業所に於ても此の實狀に鑑み今度奉天久原出張所を設立して汎く無料を以て各種鑛物の分析及び鑑定に應じ且つ有價値の鑛物を買入れて鎭南浦製錬所に廻送する事とするに決し已に露國領事館前の家屋を借入れ修繕を終はりたれば四五日内に事務所を此處に移すべく分析器械の到着を待つて五月上旬より開業の運びに至るべしと

△日支交驩の會合　奉天十七日會は十七日總領事館に於て開催する者日支人合計七十餘名に達したるが赤塚總領事及び張督軍は與に病氣の爲め不出席なりき七時、活動寫眞の開演に繼ぎて支那料理の宴席開かれ幹事挨拶の外孫旅長の答辭あり撤宴後再び活動寫眞映寫せられ十時半頃全く散會したるが次回幹事には菊地顧問、後岡官補、金政務廳長、單副官等を選定せり猶總領事及び督軍の病氣見舞の爲め十七日會より張督軍には小川赤十字社醫院長を又總領事には衛生局長を派遣する事に決議し十八日正午各々指定の如く參向したり

蠡湖零語

狂犬病の流行

山縣生

狂犬病豫防の爲め畜犬の數を成るべく制限するの目的を以て、京城府の當局者が畜犬稅を二圓に增加する事を決したのは犬の飼主以外の府民の喜ぶ所であらう。二圓といはず、五圓にも十圓にも上げて禁止的にしたくも思はれる。此頃のやうに狂犬病が流行しては安心して子供を外で遊ばすことは出來ぬ。矢野通信課長の談話に據れば、氏の令息と同級の子供が三人も狂犬に咬傷されて生命を亡ふたといふ、それから郵便信の配達人が何よりも困るのは犬に吠へつかれる事であるさうだ。たる程彼等にとりては犬は厄介物であらう。他に迷惑をかけぬ人が眞の紳士であるからには、苟も紳士たる人は自分の慰の爲めに犬を飼つて他に迷惑をかけるやうなことは無いやうにして欲しい。犬を畜ふは勝手であるが、繋留しておくなり、口輪を嵌めておくなりして、他に迷惑を及ぼさぬやうにして貰ひたい。之を怠つて其犬が、狂犬病にかゝり、人を咬傷した場合には其責任は飼主にあるから、被害者は損害賠償を要求するが至當である。西洋の文明國では今や狂犬病は殆ど絶滅した。人々が其豫防と撲滅に注意した結果である。京城に此恐るべき傳染病の猖獗は流行するは市民の無知無學を反映するもので、大なる耻辱である。犬を飼ふ人は勿論、飼はぬ人も互に協力して此耻辱を除かねばならぬ。

接木

五の日十の日會　浮碧樓

○接木二三日の土曇りけり　華虹
○村のだれかれの接木とはるゝ日　鳥堂
○接木されてあり袴解く下り立ち

○雞林同人會第九回詠草　井上通泰先生點

鏡

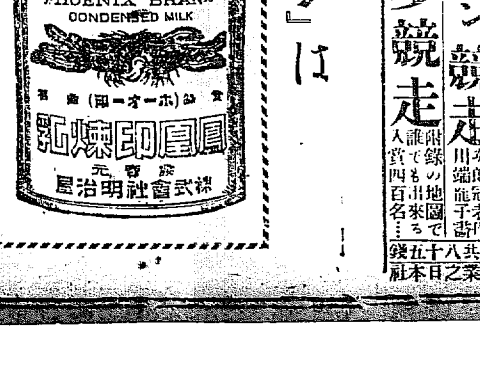
けはひする爲に鏡にむかはれどつゝがなき身をみるがうれしさ　松田甲

裝そたびかゞみの面をぬぐふとも醜きかげのいかでかはらん　岡愚学

うなゐ子が泣くも笑ふもうつれるをおのれとしらで見る鏡かな　白石致識

うしろてに髪見ておはす世刀自の影もうつれりむかふ鏡に

「ホーオー印ミルク」は
▣外國製品を凌駕し輸入を防遏したり
▣品質優秀名聲津々たるホーオー印ミルクを御愛用あれ……



發賣元　京城本町一丁目　株式會社明治屋支店

日本少年　五月號
◉鬼の窟を探檢…三宅◉畫 漫
◉新案大懸賞誌上の徒歩競走（附錄の地圖で誰でも出來る入賞四百名…）
マラソン競走　次郎冠者作 川端龍子畫
▣大激戰の回顧…上原大將　▣月下血刀を振ふ…村元帥　▣飛行機上の感想…田村少年　▣日本海大海戰歌…土井晩翠　▣死人の告白…春光　▣春のうらみ…紫水　▣故郷よさらば…芳水　▣小說秘密の卷…思水
一冊 拾貳錢 郵稅一錢 半年七冊七十五錢 一年十四冊一圓五十錢（共稅）
東京京橋實業之日本社

建部月報（無代進呈）
當商報掲載債券送料拾錢要す▲荷爲替郵時受拂
債券月賦賣　十ヶ月拂 最初申込一圓也御拂込にて五圓券九十圓乃至十圓になれば御希望の債券を御渡します（詳細規定書進呈）
當店買値段本月末日迄
振替大阪二八八〇
大阪市西區四貫島町五番地　建部商店債券部

號別	買値			
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

鑛山用測量器械　シンサキ

朝鮮銀行
當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ營ミ兼テ證券ノ取扱ヲナス
京城　振替貯金口座　京城二三三番
電話　（四）三三一、三三二、三三三、一〇六、一二六、一六一、二三二
支店　東京、大阪、神戶、下關、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、平壤、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、長春、開原、四平街、哈爾濱、傅家甸、龍井村
出張所
右ノ外内外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

商學士 吉成象外先生著（新刊）
ペン商業書式習字帖
定價金三十錢 郵稅四錢
[illegible]は著者が多年實際に應用し來りし新式帳簿記載方諸表の作成方及ひ書式を[illegible]業者の常に必要なる書式を網羅し[illegible]務界渇望の理想的商業書式習字兼用手本也
京城本町二丁目 電話二五六 振替京城八〇八 大阪屋號

初學者の爲に毎月 和歌講習錄發行
會員募集
本年の御題撰者三名　一年にて卒業何人にてもたやすく歌をよみになれます　歌會始の御選歌は入會によりまんとする人は直ちに入會あるべし目下好機會なり
申込次第規則書進呈
東京麴町　大日本歌道奬勵會

商業登記公告

商號新設
商號 巴帽子店、營業ノ種類 帽子販賣、營業所 京城府本町二丁目六拾貳番地、商號使用者ノ氏名住所 同所磯野カヨ
右大正六年四月拾六日登記

株式會社漢湖農工銀行第五回社債ノ登記
社債ノ總額 金五拾萬圓、各社債ノ金額 金五百圓、社債ノ利率 年五分七厘、社債償還ノ方法及期限 大正七年四月拾七日ヨリ參箇年据置キ以後毎年一回宛抽籤ヲ以テ償還シ大正九年（参月）[illegible]、社債發行ノ價額ニ付テハ[illegible]
右[illegible]
京城地方法院

[illegible]株式會社ハ朝鮮及滿洲ニ於ケル重要輸入品ノ販賣、及[illegible]輸出[illegible]
支店ヲ設置シタリ
右大正六年四月拾六日登記
京城地方法院

朝鮮總督府[illegible]
[illegible]事業者任[illegible]
右大正六年四月拾七日[illegible]
京城地方法院

地方金融組合登記公告
准陽地方金融組合 出資ノ總額ヲ四百貳拾四圓ニ變更ス
[illegible]地方金融組合 [illegible]
[illegible]
右大正六年四月拾七日登記
京城地方法院鐵原支廳

◎戰後の商業戰爭
駐英帝國大使の所論

十九日駐英日本大使及び羅馬の聯合商事會議に赴く日本代表者は下院に於て午餐會に招かれたるが席上日本大使は戰後商業戰爭必ず起るべきを論じて聯合軍は今日に於て之に處するの策を講ずるの急務なるを說き日英同盟は今日益々堅牢となれり日本は極東に平和を維持し秩序を保存するを以て己の任務とすと言ひ英軍の西部戰場に於ける勝利を賀して是れ更に大なる成功の來る前提なりと言へり（倫敦電報）

◎獨逸の大規模策戰
露軍北部戰線の背面を衝かん

露國陸軍當局が確實なる筋より得たる情報に依れば、獨逸は波羅的沿岸諸港に强力の軍隊を集中しつゝあり薬國河專用汽艇を用ゐて軍隊を輸送せんとするものゝ如く獨逸艦隊はキールよりダンツィヒに移りたるがリバウ沖に碇泊せりと是等の準備を察するに獨逸人は露軍の北部戰線の背面に大規模の作戰を試みんとする意圖あるものゝ如し其の軍隊上陸地點はレヴァールか或は遠くフィンランドミンならんと（露都電報）

◎有史以來の大激戰
佛軍依然として優勢なり

今や有史以來の大激戰アルラス及びエーヌ河畔よりソアッソンに及び開展進行中にして佛軍依然優勢を保持しつゝあり（巴里電報）

◎佛軍新戰術を發揮
最も驚嘆に値する勝利

佛軍攻擊の擴張に依りて新なる戰術上の方法を行ひつゝあるを示したり即ち優勢なる兩翼部隊を以て戰線を絕えず擴大し斯くして目的地點に達したる時も突出地が敵の側面攻擊を受くるの危險なからしむるにあり今回の戰鬪は參加人員二百萬を算し今日迄の最も大なる戰鬪にして佛軍が先づ勝利を博したるは開戰以來何物よりも巴里を喜ばせたる所にして獨兵抵抗の頑强なるより察するに敵は佛軍今回の大攻擊に對し豫め充分に備へ居たる者の如し戰鬪開始早々佛軍が博したる勝利の程度は最も驚嘆に値するものにして單に獨逸皇太子軍に痛擊を與へたるのみならず佛軍の東方進擊に依りても獨軍の手に侮めるランスを奪還す可きを約するものなり（倫敦電報）

◎佛軍引續き進擊
捕虜一萬三千機關銃八十の戰利

佛軍は引續きソアッソンとショーヴォンタの北オーヅリヴィーとの間に於て激烈なる攻擊を加へオステル村を奪取して敵を其の以北一基米突の地點に驅逐したり敵は潰走し多大の材料を遺棄せり佛軍は砲十九門を鹵獲す其他捕虜總數一萬三千名機關銃八十を獲たり佛軍は又數個の抵抗中心點を攻擊しシャムパーニュに於ける堅固なる地點數個を奪取し此の地に於て更に砲二十門捕虜五百名を獲たり會戰開始以來佛軍の獲たる捕虜總數は一萬七千餘砲七十五門に達す（倫敦電報）

◎白耳義總督死去

ブラッセル來電＝總督ビシング氏は死去せり（倫敦電報）

◎御慰問使發期

朝鮮陸海軍部隊御慰問及び賑恤祝察の爲め差遣されたる內山侍從武官長及び同じく南洋群島防備隊へ差遣の向井海軍少將は恩賜品を携帶二十三日東京を出發する由（東京特電）

◎山東事件結了

◎東南路實業會

……にて此程吉林省長に其設立許可を……右に比し已に四十三萬餘石に達し……の九十三錢迄より漸次高騰して現在一圓五十錢を唱へ居れり……既報の如く東清鐵道は十四五、六の三日間……は此機を逸せず長春滯在中の副監督トラウリコ氏に停止中の聯絡……引繼ぎ開始期は此處一の形勢にては引繼ぎ……

◎東京市大勢定る

定員十一名に對し二十八名の候補者を出して大混戰を演じたる東京府市部選舉界も二十日各區に於ける投票狀況に依り大勢を窺ふを得たり當選確實なるは鳩山一郎（政、前、公）を最高位として金杉英五郎（無、新）高木益太郎（國、前、公）頼母木桂吉（憲、前、公）古島一雄（國、前、公）鈴木梅四郎（國、前、公）關直彥（國、前、公）黑須龍太郎（憲、前、公）磯部尚（政、新、公）の十氏、横山勝太郎（憲、新、公）伊藤仁太郎（國、新）丸山名政（憲、元、公）の三氏は當落不明なり（東京特報）

□選舉記事備考

括弧內の憲は憲政會▲政は政友會▲國は國民黨▲前は前代議士▲元は元代議士▲新は新候補者▲公は公認候補者の略（以下凡て之に倣ふ）

◎選舉結了
廿三日議會召集

總選舉も二十日を以て結了したるに依り愈々來る六月二十三日臨時議會を東京に召集する事に決定し次回の閣議に於て正式に確定し御裁可を經て詔書公布せらるべく其の會期は約二十日の豫定なりと（東京特電）

◎海軍辭令

左の通り辭令あり（東京特電）

免本職補第七驅逐隊司令 第十二驅逐隊司令海軍中佐 副島慶一
免本職並兼職補海軍砲術學校教官 吳鎮守府參謀兼望樓監督海軍中佐 宇川濟
免本職補吳鎮守府參謀兼望樓監督 第十驅逐隊司令海軍中佐 荒城二郎
免横須賀鎮守府附補嚴島副長 海軍少佐 藤谷銀次郎
免本職補神崎副長 嚴島副長海軍少佐 北村榮虎
免本職第十三驅逐隊司令心得被仰付 神崎副長海軍少佐 小副川敬治

◎王交通次長著釜

日支連絡鐵道會議祝賀會に參列の爲め東上中なりし王交通部長以下廿七名は廿日午後八時四十分入港特別連絡船新羅丸にて釜山上陸同十一時釜山驛發京釜連絡の普通急行列車に搭乘北京に向け出發したり（釜山特電）

◎御眞影奉戴式

憲兵隊司令部に於ては二十一日午前十時より階上應接室に於て今回御下賜相成りたる皇后陛下御眞影奉戴式を擧行す同日參列すべきものは司令部將校同相當官准士官一同にして准士官以上は通常禮服を著し拜賀の式を行ふものなりと

◎李堈公御隨行

李堈公殿下には來る二十七日李王殿下の成興本宮參拜に隨行せらるる事に內定せりと

◎李王長次官隨行

李王職長官閔丙奭子爵同次官國分象太郎氏は李王殿下の嘉參隨行として廿七日南大門發成興に向ふ筈なり

◎咸北道の鑛業
一新面目を來すべし

咸北道の鑛業は近來著しく世人の注目を惹起するに至り大資本家にして之に投資し或は採掘投資を計畫するもの少なからず本年の如き北道の鑛業界は一新面目を來すものあらんと期待せらるゝの情勢なり而して北鮮鑛業の一班を見るに城津郡の黑鉛鑛、鏡城郡の石炭、富寧郡の金鑛銅鑛鐵鑛等にして茂山郡の鐵鑛は本年に入り發見されたる茂山郡の鐵鑛等にして城津の黑鉛鑛は大正元年の採掘に就きしも採掘其當を得ざりし爲め失敗し[illegible]からざりしも三年採掘法を發明するや事業の擴張を圖り稍や著しき發展を爲し昨五年の如きは

▲採鑛額廿圓萬 以上に達し頗る城津黑鉛の名を揚げ其出願鑛區數の如きも著しき增加を來し現在許可鑛區數十五箇所出願中のもの三十箇所を算すの盛況なり鏡城郡の石炭は生氣嶺及び羅南附近に於て鑛區八ケ所其總坪數二百卅二萬餘坪に達し昨年中の採掘量は七千三百四十噸價格二萬三千餘圓を算せり羅南附近の石炭は北質粗惡火力弱きを以て温突用暖爐用に過ぎざるも生氣嶺附近の產品は

▲其質優良なる を以て汽罐用にも使用するを得べく其埋藏量豐富なると深層に到るに從ひ漸次良質なるとは將來最も有望なり而して生氣嶺炭礦よりは副產物として豐富なる粘土を產す該粘土は陶器及び耐火煉瓦の原料として有望なるを認められ近く內地移出の計畫あり富寧郡下には鑛產多く到る處金、銅、鐵を產出するが最も有望なるは鐵にして北鮮鑛業所經營の細洞鐵鑛は六年

▲既に三千噸を 試驗的に內地に移入せるが成績良好なるを以て本年は若松製鐵所に納入の契約成り三井の投資を仰ぎ大々的計畫の下に採鑛に著手すべく目下山頰より海岸迄の鐵出方法等に就て講究中なるが近く解氷と相俟つて作業に著手の筈なるが同鐵鑛總量は四五百萬噸と稱せられあり尙ほ此附近四箇所に鐵鑛區あり中一區は世界に產額稀少なるクローム鐵鑛を產し同鑛石は六年百二十餘噸を採掘內地に移出せり以上鐵鑛は何れも北鮮鑛業所の經營にして同所は細洞鑛區を中心とし漸を追うて採掘の施設を爲しつゝあり

▲鐵に亞て金鑛 にして梨津附近に四五鑛區あり中一鑛區は賀田組の手にて昨年來試掘精鍊の結果成績良好なりしを以て本年は本任掘の採掘に著手の筈にて他鑛區經營者も亦本年は著手の計畫にて同地方金鑛は將來鐵鑛と並びて富寧郡の二大鑛產たるべし會寧郡の石炭鑛は七箇所にて中採掘せるもの四箇所あり何れも運搬不便の僻陬地なるを以て販路は會寧に止まるも其質優良にして鑛量も亦た豐富なれば交通機關の設備に伴ひ將來有望なり尙ほ

▲會寧郡に石油 の湧出するもの七箇所あり未だ調査の充分ならざるが有望と認められつゝあり茂山郡の鐵鑛は最近の發見に係るものにて茂山邑附近に於て十數鑛區を發見し何れも目下採掘出願中なり三菱系採鑛所の發見する所と稱せらるゝ鑛區十餘里に亙り其鑛量の豐富なる[illegible]して暗傳さるゝ[illegible]甲山の銅鑛と並稱さるゝ鑛區あり何れも近き發見に係る以上の外咸北道の鑛業としては吉州郡の黑鉛、明川郡の石炭、慶興郡の金鑛、鍾城郡の[illegible]有望視せらる（完）

◎慶北麥作狀況

慶北地方に於ける麥作の狀況を聞くに昨年十一月より本年三月までの間は概して氣溫低く且つ寒氣永引ける爲め秋蒔麥は十二月下旬より一月中旬に亙り葉先は凍傷枯死せし向も僅かに蘖と根を存するの狀態にて一時頗る前途を悲觀されたるも二月以降氣溫の上昇すると共に再び新芽を發し三月下旬に至りては其の發育全く常態に復するを得たり由來麥作の豐凶は四月以後の氣溫並に雨季に於ける雨量の如何に依りて定まるものなれば昨今の如き順調なる天候と氣溫のまゝ推移せんか本年の麥作は確かに平年作以上の收穫を見るに至るべしと豫想されつゝあり（大邱）

奉天の鮮人
四月十三日夜半於旅館 韓相龍

拜啓陳者奉天にて鮮人店舖の二三を訪問致し其の狀況を視察致し候處營業種類は貿易業、錢莊業、旅館業、料理業其他にして就中貿易業を營む嚴政燮氏は十餘年來奉天にて營業をなし其資力經驗及び信用相當に有之、健實に從事し相當なる利益を收め居候。其他錢莊業を營むもの數人あり。貨幣の兩替、金錢の貸付をなし、中には支那人より數千畝（一畝は約百八十坪）の土地商租權を獲得したるものも有之候。他の料理業、旅館業の如きは誠に貧弱にして、營業と申す程の價値を認めず候。其他は附近にて水田の開拓に從事するもの多數有之、此等は概して成功とも云ふべく候。小生北陵參觀の途中、北實地を見るに、鮮人の耕作者田野に散在し、一見すれば宛がら朝鮮の田舍に旅行する感を起さしめ候。外國に於て鮮人等の多數住在するを目擊して多大なる興味を覺ね申候。奉天附近に在留する鮮人は約四百八十人、彼等は主に白色の服、長髮の頭にて、悠然として街上に出歩き候。愚見としては彼等には少くとも斷髮黑服は必要不可缺と被存候。奉天にては鮮人居留民會を組織し、鮮人にしては大に活氣有之樣見受けられ候。小生は先日鮮人招待會席上に於て風俗改良の必要を懇々申述べ候。果して如何にや。鮮人の滿洲來住者日に月に增加する模樣にて、此等の指導誘掖は帝國の北進の上に重要なる考案の一を存せられ候事に各地の領事館に於て其調査及び研究に御盡力有之、欣喜の至りに存候。

◎前田大佐歸任期

警務總監部警察課長前田大佐は二十二日午前八時五十分南大門驛著入京すべし

◎整備船龍丸廻航

朝鮮總督府より大阪原田製船所に註文建造せし水產試驗船龍丸は十九日午前釜山に廻航し來りたるが總噸數六十七、速力九哩、乘組員は船長以下八名にして同船は特種の構造を有し海洋の觀測、漁撈試驗、水產物分布調査並に漁業取締の任務に從事すべく船籍は釜山に置く筈なり（釜山）

◎造船講習狀況

京畿道管內に於ける造船講習は昨年十一月より本年三月に亙る百二十日間光永芳松氏を教師に聘して內地型船建造法を講じたるが其の成績頗る見るべきものあり終業生徒五名は何れも熱心に就業し內地型延繩漁船及び鮟鱇網漁船の二隻を建造し得たり右漁船は二隻共講習終了後船卸を爲し同時に仁川に向け航せし由因に講習期間中は生徒に一日十八錢の食費を補給せりと

◎京畿土地改良事業

京畿道の昨年十月より本年三月迄の間に於ける各年度繼續事業狀況を聞くに富川郡多朱面間石里及び廣州郡中垈面文井里二ヶ所の堤堰土地改良工事費六百五十二圓十四錢にして內道より四百七十二圓の補助を爲し又漣川郡積城面魚遊池里並に長湍郡外十六箇所土地改良線工事費八千九百二十八圓六十九錢にして內道より六千圓の補助を爲す所ありたり

◎村上博士講演

文學博士村上專精師は既報の如く十八日より三日間釜山西町東本願寺別院に於て引續き「日本佛教史」に就きて二十一日午後二時より同八時より二回講演し、今より約一千四百年前朝鮮國百濟王より我國の欽明天皇に佛像、經文及び僧侶を獻じ來り佛教渡來の當初より說き起して印度佛教を現在の如く純日本佛教化せしめし沿革を最も通俗的に講演し猶ほ每回一席宛教育、宗教、修養に關する種々の有益なる講話を爲すべしと（釜山）

◎長春歡迎方法

本社主催滿洲觀光團の長春訪問に對し其の歡迎方法に就て十九日午後長春驛樓上に領事館、居留民會、滿鐵地方事務所、三井、鮮銀、商議、組等の代表者會合し左の件を協議したり（長春特電）

一、二十三日[illegible]有志者は公會堂[illegible]
一、二十五日[illegible]
一、二十六日午前七時より[illegible]

人事消息

▲陳相龍氏（殖銀[illegible]）▲伊東京畿道警務部長 二十日夜[illegible]▲近藤友右衛門氏（實業家）二十日夜入京 ▲[illegible]全南警務部長 二十一日朝入京

▼南言北語

獨逸では困[illegible]もしたもので人間を煮て油を採りかすは肥料にして居るとは驚いた人道上言語同斷だ▲而し獨逸だからまあやり相な事だ一體日本では人を燒く仕事をやつて居るのをおんばうと云ふ▲此奴は人體燒葬中でも先づ餘り好かれぬ方だが獨逸では之れをお上の手でやると云ふから驚く而し獨逸では却て此方を笑つて居るのかも知れぬ▲クルップ會社や海軍工廠の職工が同盟罷業をやつたり食糧の奪合ひ騷動が政治的色彩を帶びて來るなんて獨逸の影は日々に薄くなつて行く樣だが▲一層の事政府の連中を一束にして煮て仕舞つて油を採つてやれば文句はないサ▲米國人の突飛さは今始まつたのでもないが之れは又た思ひ切つた事だ▲一文なしの小僧から活動寫眞で一躍百萬長者になつた紐育の活動寫眞屋セルズニツクと云ふ男は▲此の程露國廢帝に宛て『閣下を主人公として皇帝の內幕と題する寫眞を撮りたいから是非米國へ來て下さい給料は一週間五千弗の割合でお拂ひ申すが何うでせう』と云ふ電報を打つたさうだ▲處が此の男にしては之れ位の事は朝食前の事だとは何ぞ驚く▲其うせかずとも餘り遠くない內に獨逸も君の寫眞の厄介になり相な人が一人ある▲それ丈けは是非撮つてもらひたいものだね

東京時事新報社發行 二大子供雜誌

少年 五月號 各十錢 郵税一錢

大戰爭（戰爭小說）▲[illegible]

少女 五月號

▲[illegible]▲新入學生歡迎

最新刊

大阪屋號書店
[illegible]

鐵道拂下品 夏物綿セル賣出
一等 三圓八十錢
二等 二圓八十錢
三等 一圓五十錢
其他軍隊拂下品各種和洋古着類荷捌
右例年通り特別廉價販賣
和服洋服商 龍山元町三丁目 金子與市商店 電話百〇五番 振替京城三八一三番

公債株式 現物賣買
東京福島商會特約店
京城貫鐵洞百五十三番地（鍾路大廣橋北河岸通）
加藤商店 電話二三八一番

寫眞 出張撮影 寫眞銅版、亞鉛凸版 最も熟練せる技術を以て敏速に調製致します
京城日報社 寫眞製版部

法人登記公告
一、華川地方金融組合登記事項中出資ノ總口數ヲ四百口增シ一口ノ金額ヲ金八百六拾壹圓ト變更シタリ
右大正六年四月拾七日登記
京城地方法院春川支廳

聯合國傷病兵慰問金寄附者氏名（第六回）
[illegible]

…れし事件は山東省長より外交…除中の眞鍮…金三千元を出す事となりて結了せり(青島)

…理協理及び各幹事を選定し該會は延…邊一帶地方の山林鑛山開拓、牧畜及び交通の開發を圖るを目的とする者

◎奉天貨物狀況

昨秋滿洲の豐作と地方金融逼迫の爲め奉天市場への出穀は想外の旺盛を極め前年度(四年度)の三十五六萬…月末日迄累計一萬三千六百○四噸前年より三萬五千三百四噸の增加にて左の如し

本年度　前年度　增減

…而して大豆の著るしき增加を示せるは滿洲方面に於ける新需要開けたるに由る而して奉天大豆相場は昨年末…日に三百餘石に過ぎず最も大なる增加なかる可しと云ふ(奉天)

◎東淸掃貨努力

…七日迄に七百車を回送し…給貨二十四貨車地方貨三…せり尚廢除の滯貨一掃の…三百車を回送すべしと發明せり滿鐵…を輸送…の最近に…に增加すべく要求したるに同氏は…哈支社マキシメンコ氏に相談の上…隔日中に回答すべしと答へたり…かるべしと豫想されつゝあり(上略)

◇句佛上人
内地は殆んど各地に巡錫

上人はその風姿端麗清楚、資性亦温厚、人に接するに和愛慈敬、道を信ずること甚だ篤く、もと蒲柳の質なる上人十九歳の時

◇肢關節炎を 患はれて以來右脚遂に癒へず、ために室内の歩行にも杖を要するのであるが親職以來、巡錫に日も是れ足らず南は薩摩大隅の果てから北樺太の邊境に至るまで足跡の印せられぬところは無いほどで

◇殊に北國は 宗祖の芳蹤を慕うて殊な巡錫されてゐる、遠く内地を離れて巡錫されたのは明治四十三年の上海別院の大遠忌に臨まれたことがあつたのみで今回の朝鮮及び滿洲の巡錫は海外巡錫の第二回目である、上人が巡錫中は

◇大抵未明に 起き出でゝ四五箇所の末寺や門徒の宅に立寄らるゝを普通とする、その會所には已に信徒が三里五里の遠くから集まつて來て到るところの境内には人の波人の山を築いてゐる、寺では歸敬式があり、親教があり、接見があり或は青年會婦人會等の講話があり

◇時に監獄に 囚人を教誨され、軍隊を慰問さるゝ事もある、連日隨車で揺られるだけでも苦痛であるのに山間僻地に、わけ入りての巡錫には駕籠に乗らなければならず隨分困難される場合が多いさうである次ぎに

◇上人の法話 であるが一口に法話といふても説教、演説、講話講義、訓話、教誨、示談などいろ〳〵に類別される、法主が信徒に布教さるゝ場合には必らずその前後に布教使の説教がある、その前なるを開口と言ひ、後を復演といふ、復開口は前口上で復演は法主親教の趣旨を更に

◇平易詳細に 演達するのであるが微細を穿てる上人の首尾を整せる親教には上人巡錫の隨行、赤松博士の如きその親教に一言の加除すべきものなく、復演の豐富にその説くべきなきに苦しむさうである、亦上人が認めらるゝ文章としては門末に對して

◇眞俗二諦の 教義を平易簡明に叙説する『御消息』といふのがある、これは蓮如上人八十通の御文に倣はれた擬古體のもので次ぎに諭示と教書といふものがある、諭示は國民に對して諭告などの換發された場合

◇眞宗信徒の 立場からあくまで聖旨を服膺する旨を諭示するもので教書は青年會や慈善會などに下さる教條であつて共に剛勁な漢文體なのが多い、しかし之れ等には一つの型があつて上人の文章の風格を偲ぶには寧ろ感想

◇隨筆の俳文 などを見るがよい、上人の俳句は夙に…提撕であるが、上人の作品は…さぬまでも大凡以上の如きものであるが、更に趣味の上人に就いて記して見る事にする(つゞく)

◎前例無き御參拜
咸興は李王家發祥の地
李王職次官 國分象太郎氏談

昌德宮李王殿下には來る二十七日京城御出發咸興本宮を參拜せらるゝが(は既報の如くであるが之れに就き國分李王職次官は語つて曰く

日程其他の事はまだ確かと定まつては居らぬ目下道路旅館等の準備の爲め出張して居る武藤庶務課長が歸任してから日程其他凡ての事は決定する筈に成つて居る

▽從つて隨行の人々 も未だ人選中であるが李堈公殿下李王職長官、次官、庶務課長、祭祀課長等は隨行する事に成つて居る元來咸興は李王家に取つては發祥の地であつて本宮の外陵が幾つもある何れの家に取つても大切なる祖先の靈廟や先陵の在る處であるから王家では參拜を怠つては相濟まぬ次第であるが從來は何分にも交通不便の爲めと朝鮮の禁習からして王の巡幸は却々容易に實行されぬ爲め

▽太祖以來各代の王 は未だ一度も自から太祖の廟陵に參拜を爲た事が無かつた今度は幸に京元鐵道も永興まで開通されて居るし永興の先きは僅かの旅程であり且つ恰も春色駘蕩の候とて自然に旅の御慰みも多からんとて急に思立つて參拜に出られる事となつた出發は多分二十七日に成るであらう、臨時列車で元山に著き同地一泊翌日永興に赴き

▽永興より咸興の間 十二日は馬車にて途中定平に一泊し翌日咸興に著かれる此の間二三箇所の渡場等は舟にて通らるゝ事となつて居る咸興には本宮の他に定陵和陵も有る李王は朝鮮古式に由り祭儀を行ひたる後咸興に二泊さるゝ豫定である、朝鮮王は古來殆ど宮中を出でず李王殿下が伊藤統監時代南北鮮を巡行された事なども朝鮮に取つては前例の無かつた事であつた、殊に今回は

▽從來最も交通不便 であつた北鮮地方に巡はらるゝ事であるから定めて地方民も悦ぶ事であらうと思はれる、それに付けても昔時の朝鮮人は王の巡幸を最も恐れ家を換へて逃避した位であつたが今はたゞに誅求されぬばかりでなく王の巡視は尠からず地方に利益の潤ふ事であるから僻遠の民も如何に時代の進化したかがよく了解せらるゝ事であらうと思ふ

◇倭城臺の櫻 ―二十日撮影―

◎不良少年團檢擧せらる

京城鍾路警察署管内にては近來盜難の被害頻發するより不良少年の所爲ならんと見込みをつけ嚴探中齋洞四番地居住播伊(一七)なるものが不良少年團の團長格となり乾兒として同洞番地石(一二)仁寺洞金順益(一六)桂洞李山伊(一六)等を從へ共謀して各所を荒し廻りたる事判明し此程前記五名は鍾路署の手に逮捕されたるが取調べの結果昨年七月十四日午後一時頃花洞中央學校小使室にて望遠鏡一個(十三圓)を竊取したるを手初に本年四月中旬迄に十數回に亙り三十六箇所より竊取したる金品は數百圓以上に達し續々發見したる贓品は山積され尚餘罪ある見込みにて引續き嚴重取調べ中なるが得たる金品は何れも買食ひ又は活動寫眞見物等に浪費したるものなりと

◎墓地で二十餘名の大格鬪
棺の爭奪から負傷者數名を出す

京城新町遊廓主居の雇人なりし金弘基なるものが病死したるより本月三日遊廓内雇鮮人は同人の葬送を盛に營まんと何れも廓内の各引又は妓夫等に雇はれ居る西四軒町居住李曌玉(三)李興根(三)新町金壽淑(三)初音町崔陽辰(二)黄金町七丁目金應洙(三)新町金興根(三)本町四丁目吳命根(三七)崇一洞安泰衛(三八)外十餘名は弘基の屍骸を高陽郡漢芝面水鐵里なる京城府の共同墓地に

▲葬列の途中 折柄之れも埋葬を終りて其の歸宅の途中なる八判洞の李鐘煥外四名に出會したる際鐘煥等が弘基の葬列に加はり棺を擔ぎ行くべしと申込みたることより端なくも棺の爭奪となり雙方入り亂れて大格鬪を演出し棺は路傍に放置して約三十分間も亂鬪中

▲急報に接し 京城憲兵分隊の憲兵驅付け取り鎭めたるが李鐘煥外五名は孱弱なりし爲め松丸太棍棒等にて亂打され何れも治療一週間乃至十日を要する創傷を負はされ前記八名を主謀とし引致し嚴重取調べの上一兩日前檢事局へ送りたり

◎飛降りて負傷
調査局書記の奇禍

十九日午後九時頃京城電氣株式會社龍山行百號電車が南大門停留所附近を進行中乘客なる花園町居住臨時土地調査局書記戶倉吉三郎(三五)が飛降りをなし大地に倒れて前額部に深き骨膜に達する裂傷を負ひ朝鮮診療醫院にて應急手當を受たるが生命には別狀なく一週間位にて快癒すべしと

◇新らしき試み
▽メソヂスト教會の讚美禮拜▲

◆春 が來た、野にも山にも街にも若草色を帶びて來た、春本來の新らしき芽を出し新らしき姿を萌めた。茲に貞洞二丁目メソヂスト教會では新らしき會を催して讚美禮拜なる會を催し全世界に有名なハレルヤ、コーラスを紹介したい。左に此のコーラスを紹介したい。

◆著 者ハンデルは獨逸人だが、若年にして英國へ渡り彼の國で生長した。前後五十年間居住したが故に充分に英國思想の精髓を會得して一千七百四十一年に有名なメサイヤを印行した。之れに收むるものは皆長篇物で其の數五十五篇もある。

◆メ サイヤに收むる。各篇はエスキリストの傳記である其の内でも有名なる作物はハレルヤ、コーラスであつて著者の精分は英國の精神を獨逸音樂にて全部を表示したものである。故に此の曲は音樂の國である。彼のモザルトベイトザン等の世界に屈指の音樂者が殿出して居る。

◆ハ レルヤ とは希伯來語で『神に榮光あれ』とでも譯すべき語である。苟も氏が非常な喜びをなし、歡喜に充ち溢れた時に唱へる語である。此のコーラス─合唱─普著植は勿論、風琴李王職の樂隊でも吹奏される。

◆元 來ハレルヤ、コーラスは何十人、何百人かの大勢で毎年〳〵のクリスマスの時に歌ふものだ。クリスマスに繰り返へされても常に新らしき感興と歡喜とを催させる合唱である。

◆昨 年協同傳道の催されし時、唱歌隊が各教會から寄り集つた。此の人々が何にか綜合で練習したいと云ふのが我々の趣意であり、實は昨年のクリスマスに歌ふつもりで練習したのだが、非常にむつかしいので茲に二十二日の日曜日の晩に歌ふ事にした。これからは毎年のクリスマスに歌ひたいものである。

◆世 界的のものは世界的に練習する必要あり、教會館の音樂倶樂部にて鮮人の男子部八人々はスミス氏の指導にて練習した婦人會に於ては九月以降一週二度音樂に京城女子部は梨花學堂に於て其れ〳〵練習して居るのである。歌ふて人種も國家も融和されたいものだ

◆歌 ひ手は宣教師、鮮人及び内地人を合併すれば五十名以上に上ぼる。何にせ京城に於ける最初の試みである。これから斯る試みが繰り返されて、感想の融和感情の一致を圖りたいものとコーラスの指導者スミス君の願である。

◎狂犬

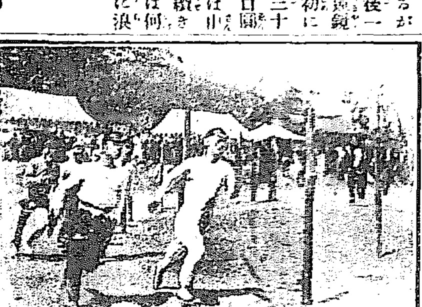
京城桂洞朝鮮人某の飼犬は數日前太平通り黄金町界隈にて狂犬に咬傷されたる形跡あり特に傷等はなきとるも十七日獸醫診斷の結果狂犬病と判明したるを以て即日撲殺せり

◎スミス氏再來

米國青年飛行家アート、スミス氏は廿日午前五時橫濱入港の西伯利亞號にて母親同伴來朝同日午後二時入京せり昨秋の負傷は全く快癒して足に關しては少しの懸念なきに至れりと(東京特電)

◎京城醫專の運動會

京城醫學專門學校では二十日正午から運動場で開校記念運動會を開催した、各組選手の一千米突徒歩競走やいろ〳〵奇抜な演技があり最後に職員や來賓の競技等があり三十回の運動があつて頗る盛況を呈し内鮮人の觀衆も場内狹しと溢れてゐた



醫學專門學校運動會

◎黄海道の大火

十八日黄海道殷栗郡西村面山地九月山より發火し約一千五町歩(損害六百三十五圓)を燒き拂ひて十九日午後三時鎭火せり原因取調中(海州電報)

●質屋業者へ訓示 京城本町警察署にて二十日午前管内居住内地人質屋營業者全部を召集し宮館署長より訓示する所ありたり

●高野山の大法會 新町高野山にては十九日より二十一日まで…時同八時より高祖弘法大師の入定忌たる正御影供大法會を…二十一日は例年の通り午前九時より午後六時迄在京信徒より寄贈の…[illegible]

花の木浦より

○朝鮮の春はまづ南鮮の櫻が魁ける、そして此の南鮮にも愈々柔かい春が訪れて來た、橋本府尹の所謂湖西の風光に惠まれた木浦の春は小波の寄せては返へす穩かな海を抱いて一段の情趣が深い。

○木浦の櫻は今の處、府廳附近のが最も鑑賞に値する、多くは開港當時から植はつた老樹で枝振りも見事なら花も美しい、野村派の…のやうな儒達山を背景として人懷しい夕闇に…[illegible]

京城黄金町三丁目 電話二四三三番 振替京城三二六番
内科、眼科、小兒科 本田醫院 院長 本田正…

痔核。痔瘻。脫肛。裂痔。痔出血。直腸脫
本田醫院附屬 京城肛門療院
肛門病の話 解説書入用の方は郵券十二錢を要す

京日案内 普通一回五十錢 番外 [illegible]

●金融 官吏教師へ 信用貸 京城本町 [illegible] 905

[illegible] 996 997

●洋服裁縫 京城黄金町 [illegible] 996

[illegible] 999 983 792

▽▽古本回古樂器回買受と立替 本町ウツボヤ書店 電二五七 964

●金銀細工職人二名入用 京城高木商店 968

●女ボーイ數名至急入用 希望の者は申込まれたし 仁川仲町 仁川ホテル 975

▲店員(印刷見積に經驗ある者)數名 ▲植字▲解版數名 右募集す希望の者は履歴書送付あれ試驗の上採用す 京城旭町二丁目 京城印刷所 991

●社員募集 簿記に精通し倉庫業に經驗ある者保證人二名履歷書 株式會社 哈爾賓倉庫 984

牛耳洞行自働車 觀櫻諸彦の御便利を圖り牛耳洞行自働車開通仕候間陸續御乘車願上候 電話二九… 東大門通一番地 [illegible] 自働車部

京城春川間 乘合自働車 京城發前八時 春川發前八時 京城水標橋通り 電話二一三八番 支配人 [illegible] 761

恩給年金立替 即時取引退隱料一切手間以上別契約 京城櫻井町(大正館向)元祖 博多屋 本店 941

新古ミシン賣買 並に修繕 京城鍾路二丁目 公園近 電話三八三 ●針油部分品販賣 楢商店 961

測量製圖設計 浚渫調査土地整理工事監督の依頼に應ず 鑛區坑入 河川港灣 京城壽町十七番地 栽培學校前 公益舍 981

國債券擔保 低利金融 御不用債券高價買入 京城太平通二丁目(電二一八三番) 勸業貯蓄合資會社支部 988

社員採用 内勤 學力中學又は甲種商業卒業以上品行方正にて市内確實な身元保證人二名を要す希望者は自筆履歷書携帶本人來談あれ(姓名在社) 993

安東縣有志の懇請に依り四月十五日より約三週間同地出張 久枝肛門病專門醫院

大正生命
加入者へ利益配當
一百圓に付現金拾貳圓(一割二分)
本社は開業後間もなくして異數の大發展を爲し [illegible] ○契約者利益配當の如きも所期に先つ事一年なる本期に於て左の如く現金を以て第一回の配當を爲せり [illegible]
京城本町二ノ一〇六 大正生命保險株式會社朝鮮支部

和洋金物一式
地方御注文は特に便宜迅速御送付可致候
京城本町三丁目 佐藤半次郎商店 電話 [illegible]

京城旭町二ノ六 東京パイン萬年筆出張所

今日は土曜 明日は日曜 樂しく遊ぶは 有樂館
庭の櫻は綻びて笑を含んで人待顏
内外共に盛裝せる 有樂館の特別大興行 特に料金普通
教育參考日本史劇 平家の忠臣 惡七兵衛 景清一代記 全五卷 當館で封切!
▲日本歷史を通られた御方は平家物語の内其の數十頁を飾る [illegible]
▲俳優は東京歌舞伎大名題市川團右衛門が亡き名優市川團十郎の佛を偲り一座五十有餘名が心血を注いで作り上た大寫眞です
▲當館が誇る特選封切映畫!百聞一見に如かず!
飛行機應用の新派悲劇 舞ひ扇 全三卷 早川直…
伊太利ミラノ會社作 死の陰 全三卷
有樂館 電話(階上)五九七番(階下)二〇五番

眼科專門 入院隨意
京城明治町東拓横(電話二〇四四番)
江頭眼科醫院 江頭富雄
日曜祭日午後二時迄

怒濤の月

小林蹴月作　武内桂舟畫

百四十一

葉櫻の蔭（二十八）の二

『まあ、そんなに屏風なッて心配なさる事はありませんわ。何時が何時までも、と云ふ必要がある譯ぢやなし、貴郎が文展にお出しになる間にさへ合へば、好いぢや御座いませんの。』

『そりや私自身の都合から申せば然うで御座いますけれども、それでは餘りに閣下や、貴女の御親切に對しても、無責任のやうで御座いますから……』

『どうせ御說だつて、畫家と云ふものが、約束通り物を描き上げるものでない位の事は承知遊ばしてなんですから、半年掛つたッて一年掛つたッて、氣になさる事はありや爲ませんの。何でも御自分の氣に濟んだやうな大作をば、緩りと考へて緩りとお描きになつたが好う御座いますわ。ほ、ほ、ほ、ほ。』

『は、は、は、私見たよな未熟の畫工に然うした寛大な心を有つて居て下さるお方は、貴女より外にはありません。そのお語に對しても、是非精力のつゞかん限り、立派な物を成就させねばならんのですが……什う云ふものかしら、私にはまだ此處ぞと云ふ感興が浮んで來んので、御覽の通り、毎日々々只御厄介になつては、貴女方のお眼から御覽になつたら、實に腑甲斐のない怠惰者だと思召すでせうね。』

『ほ、ほ、ほ、』ともすると倉橋さんはそんな氣の狹い事ばかし仰有るんですね。妾、失禮な事申すやうですけれども、貴郎と云ふ方を立派に一廉の大家に成らして進げたいと思つて、それで及ばずながら、蔭陽から力添ひを爲さりますのよ。時間の長い短いなんかは、決して〳〵氣になさらないで、今も申す通り世間を吃驚させるやうな傑作を描き上げて下さいましね。』

袖子夫人は、恰も自分の弟にでも力付けるやうな氣分と態度とを以て、極めて熱心に宥め且つ說き勸むるのであつた。

『矢張、貴女から然う仰有られると、私は實にお答への爲やうがなくなつて了ふんです。』と、幸三郎は、或る情の昂ぶつた眼を一杯に開いて、少時熟と袖子の顏を凝視め居たのであるが、

『……私、一度お伺ひ致さうと思つてゐましたが、今となつてはもう一昨年の夏ですね、一昨年の夏の中旬に日光でお目に掛つた時御同道なすつてらッしやた桑原さんと云ふお方が、貴女の御良人だとばかり信じて居りましたが、一體什う云ふ御事情があつて、此の男爵家の奥樣とお成りになつたんで御座いますかな？』

『あらまあ、倉橋さんにも似合ないそんな事詮議立てなさるのは、そりや野暮と云ふもんですわ。』

袖子夫人は、流石に幾干か極りが惡かしさうな容子で、眼の縁に淡紅をぽつと染めたのである。

『は、はア、私が然う云ふ事をお訊ねするのは、野暮と云ふもんで御座いますかね、それは甚だ失禮を致しまして御座います。』

幸三郎は、眞面目くさつて、小鬢を掻きつゝ詫びを述べると、袖子は愈ゝ迷惑さうに苦笑を漏らして、

『厭だわね、倉橋さんは。貴郎に詫語をなさいと言ふんぢやなくてよ。貴郎だつて大抵は察してらッしやるでせうけれども、此方の御前とは、妾が藝妓時代からのお馴染なんで……彼の桑原さんとは、ほんの一時の都合上で一緒になつたには違ひありませんけれども、別段戸籍までの夫婦と云ふ譯ではなかつたんです。尤もね、今では此方のお屋敷へ斯うして轉じて來ては居るやうなものゝ、是とてもまだ本統の男爵夫人に据えられたと云ふ譯ぢやありませんの。御前の御機嫌次第では、明日が日にも亦、什う風向きが變るか知れたもんぢやありや爲ませんのよ。それにね、倉橋さんの前ですが、一旦藝妓なんかに成下つた女は、どうせもう操だの道德だのと言つた所で、他の方で承知して呉れる氣遣ひがありませんから、まア、出來る丈贅澤が出來たら、位地の好さゝうな身分を望む位が落なんですけれども、併し又よく〳〵考へて見ると、五十年の浮世なんですからね、妾なんかも近頃は何だか、贅澤や身分の高下よりは手鍋下げても氣樂な生活と云ふ方が、羨ましくなつて來たやうな感じが爲て仕方ありませんのよ。本來何方が實際に女の望むべき途なんでせうね。』

幸三郎の不圖したる質問の語が口火となつて、袖子夫人が、思ひがけもない境遇の述懐を說き出したのである。

小心の幸三郎は、飛んだ事が持上つたと思ひながら、鳩のやうな眼をぱちくり。

京城黃金町二 電話一一四八 產婆 榎田習代

京城二葉會句集

無蓋庵帝史宗匠選

石女の默し立けり歸り花
住人のありや枯野の一軒家
暮れんとす枯野を急ぐ旅人哉
紛若描く酒屋の庭や寒椿
剰む染い中に香ある水かな
心して聞くへき今日の時雨哉
發心の昔を忍ぶ寒さかな
寒き顏や渡しの乘後れ
雪に埋積りて富士の高根哉
月ホリ落牙ゆる夜や寒苦鳥
枯いた跡へ直すや洗白
冬川や出て居る石に鳥の糞
鴨の足跡いて止めけり酒と汁
雁柱馬の蹄の跡の深し
落犬や寒月の野を吹て行く
三人の子に泣かさるゝ吹雪哉
生壁に打込てあり顏の豆
時雨るゝや旅に寢たる傘
要整ひ端にすくみし生海鼠哉
繩火して月光冴き火串哉
歸師の灯ゆらむ下に卒す人もなく
見心や冬さへ月は外り際
ふゆの日の一日あたる小家哉
花摘みし處とは見へぬ枯野哉
小刻みに脈音さへて月恋し
梅咲て歌人の來る山路かな
枯野原寒月高う照しけり
金屏に燭たる燭や細蒲團
世は欲の旅籠八街や大三十日

かはりなく水は流れて年の暮
笑ふ兒の泣いて紙衣の袖を破りけり
誑られて紙衣の池を流しけり
冬月や川が隔てし狐叫ふ
滑笑て都い地圖なかりけり
榾の火に乾くや鞋と笠の皮
殘菊の守る孤城や冬の月

新刊紹介

▲蒲鮮評論（四月號）植民地の發展と內地の思想（一愚）大垣社長（朝鮮の風俗と習慣）（總督府）日本の將來　前田利彥　北京政界と時文問題　林男、朝鮮のロマンス（篠崎潮二）統治上より見たる地籍整理（和田一郞）其他小說、脚本、文苑等內容漸く充實せるを見る（二十五錢京城太平通二其發行所）
▲朝鮮產業界（四月號）農家に適當なる副業の獎勵を主眼とし蠶業、農業、畜産、地方通信其他の欄に分ちて實際家の說を收めたり（二十錢京城黃金町二ノ一一七其社）
▲土木建築工學（四月號）鐵筋混凝土丁形標梁設計法並に鍊鐵桁との工費比較（前原伴內）彰彫刻の應用（二見博士）京本工藝社二十五錢東京日本橋本石町一ノ一工學社）
▲向上（四月號）男女學生の腦力增進（金杉博士）精力を充實する法（福田博士）生理上より見たる精神修養（永井博士）等身に關するもの多し（十五錢東京淺草南元町二八修養團本部）
▲新國民（四月號）源義經論（五來欣造）海の日本（中村博士）等の論說其他の遠征記及文苑等（十五錢東京麴町內幸町一ノ六大日本國民中學會）
▲子供と科學（四月號）玩具と實驗、科學物語、蛙の一生等趣味の豊かなる科學智識の習得を目的とせるもの小學生の讀物として適す（五錢東京市外中野一六二九其社）
▲農業世界（四月號）農業問題としての普通教育（柳澤博士）及作物の化、新發見ダリアの實生法、蔬菜果實の貯藏法等（二十二錢東京日本橋本町二博文館）
▲英語精習（四月號）內外時事問題、商工業、小說、漫畫、會話、作文等に涉りて實力養成と興味とを兼ねたり（十五錢東京淺草南佐久間町一ノ一其社）
▲ホトトギス（五月號）漱石氏と私（虛子）進むべき俳句の道、同等を初め鳴雪、碧梧桐、月斗の選句、作品研究等（二十七錢東京牛込山ヶ谷船河原町一二其發行所）
▲東方時論（四月號）支那政府の對獨外交を評す（吉野博士）米吗外相の對々外交（松岡生）統計に現はれたる選擧違反事件（安達元之助）等（三十錢東京牛込加賀町二ノ五其社）
▲英語の日本（四月號）十二錢東京神田表神保町三建文館
▲サ、イングリッシ、タイムス（一一ノ四）十二錢東京芝南佐久間町一ノ一英語通信社
▲ザ、ジャパン、タイムス、スチューデント、エヂション（六ノ一七）十二錢東京麴町內幸町其社
▲面白俱樂部（五月號）十錢東京本鄕駒込坂下町四八講談社
▲新少女（勉强上手號）十二錢東京府下雜司谷上り屋敷婦人の友社
▲カット畫報（四月號）十錢東京々橋區木挽町二の一五其社
▲海國男兒（四月號）二十錢東京麴町內幸町一の五其社
▲講談俱樂部（五月號）二十錢東京本鄕駒込坂下町四八講談社
▲少女畫報（五月號）十六錢東京々橋區桑町一東京社
▲市町村雜誌（四月號）十錢東京芝田村町六其社
▲電氣界（四月號）二十錢大阪北區若松町二六其社
▲琵琶新聞（四月號）十錢東京神田表神保町三其社
▲工業（四月號）二十錢東京府荏原郡不入斗三二四工業改良會
▲主婦之友（五月號）十七日東京市外巢鴨町一八二九東京家政研究會
▲講談落語娯樂世界（五月號）二十五錢東京日本橋區スキヤ町九其社
▲朝鮮鐵道青年（四よ號）朝鮮龍山鐵道構內其會
▲朝鮮教報（四月號）七錢京城元町二の七三本誓寺內其社
▲模範中學講義錄（創刊號）中學程度の普通學十二科目に對し在東京各中學校教諭の講義を掲載す平易にして懇切なり（會費月六十錢東京神田三崎町三の二大日本模範中學會）

◎大正生命の契約者配當　大正生命保險株式會社は開業後幾何ならずして二千萬の契約高に達し偉大の發展を爲しつゝあるは夙に世人の知悉せる處なるが今又同社は一般契約者に對する利益配當をも約せる第五年度に先つ事一年なる本年度に於て早くも之が配當を實行するの域に達し本月末日迄には一般契約者に對し年額保險料の一割二分に相當する金額を現金を以て配當する事とし目下夫々手當中なりと云へり以て同社が如何に內容充實し其社運の隆々盛に向へるかを窺知し得べし同社前途の好望なる春季に比すべきか

商況

大阪期米（二十日後場）
先物　一五、九五　一六、〇〇　一五、九四　一六、五一　一六、五九　一六、五一　一六、五七

▲焦付薄商內　大阪の成行は強硬なりし [illegible]

▲又復閑散　大阪の高値を報じたるより買氣を起し居る群人客あり [illegible]

▲現物界 [illegible]

場況　高値　十三圓六錢　安値　十三圓四錢　出來高　三千二百石

◉罪を悔て自殺 [illegible] の土屍體は家人に引渡せり自殺の原因に就ては尙取調べ中なるが [illegible]

◉上海傳染病況　上海に於て本年三月二十六日より四月十日に至る傳染病は猩紅熱新患 [illegible]

完全なる懷中藥 優秀なる口中香劑 仁丹

金言
十字を讀むよりも一字を味へ（仁丹）

●さあ大變!!
忘れたと散步の途中お父樣お困りのとき可愛らしいお孃樣の袂から出たのは重寶な仁丹四季容器

仁丹活用
旅行する時仁丹召上れ
頭痛目眩に仁丹召上れ
食傷腹痛に仁丹召上れ
吐き下しに仁丹召上れ
貰の代用に仁丹召上れ

百圓 りんびやう 淋病 ばいどく 梅毒
諸病根治 三日分 七十錢 薬 八錢送料 並一圓 二圓
大阪三休橋ドラッグ商會
帝國醫科大學病院
等に於て治療試驗せる高等醫學上最有効と確定し治療的とし特に普通の藥を保証する萬一前述の証言に違ふ事を發見せる時は分析料として百圓進呈
アらゆる治療を試みるも効なき患者に是非一度來診あれ
にせ物あり注意
大阪有田 ドラッグ本舗 京城南大門外停車場通
京城本町二丁目 元山本町三丁目 ドラッグ商會 大阪ドラッグ商會
他の藥店に販賣を不許
京城 南大門 停車場通 外 大阪 ドラッグ商會

模範 牛乳 ニウソ 石鹸 洗粉
主唱 腸診 肥塚正太
京城蓬萊町四丁目 東亞牧場 電話五二番

大日本優等清酒 ハックル 白鶴 品質純良 衞生無害
醸造元 攝津灘御影町 嘉納合名會社
發賣元 京城本町二丁目廿番地 前田酒店 電話一三七番 振替口座四二五番

貯蓄預金 元金百圓ニ付日歩壹錢三厘 壹錢以上何程ニテモ御預申候
株式會社長崎貯蓄銀行代理店
株式會社十八銀行京城支店 京城黃金町 電話四二〇番 振替貯金口座京城八一四番
同 龍山出張所 龍山元町二丁目 電話一八番
諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

冬の お衣裳を お片附の節 是非藤澤樟腦を

商標 藤澤樟腦 各地藥店にあり

尼崎汽船仁川出帆
群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行
○君が代丸　五月二日　四時出帆
○吉代丸　四月四日後四時出帆
○秀吉丸　四月三十日後四時出帆
神仁川港　杉回漕部

日本郵船仁川出帆
大連行、太沽（天津）牛莊行
○相模丸　四月廿一日正午出帆
○和泉丸　五月一日正午出帆
○三河丸　五月十二日正午出帆
仁川港町　回漕部

汽船釜山出帆廣告
門司、神戶、大阪行
○和歌浦丸　四月廿七日後五時出帆
○立神丸　四月廿六日後五時出帆
○山清、浦潮行
○和歌浦丸、元山、淸津、城津、浦潮行　四月廿五日後十時出帆
○立神丸、西湖、新浦、城津、浦津行　四月六日後四時出帆
○山清丸、三琴平丸　四月　日後六時出帆
○第三琴平丸　宇品、神戶、大阪行
門司、壹岐、博多行
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行　毎月二日九日十四日廿一日廿六日午後十時出帆
○天眞丸
釜山港立新町 大池回漕部

大阪商船仁川出帆
○外航商船組合ノ協定ニ依リ [illegible]
◎群山、木浦、釜山、關門、神戶、大阪行
××油頭丸　四月廿八日
××信濃川丸　四月廿三日後五時出帆
須磨丸　五月五日
◎木浦、關門、神戶、大阪行　天智丸　四月廿二日後二時出帆
×◎木浦、釜山、橫濱行　福州丸　四月　日後二時出帆
◎木浦、釜山、關門、鄉の浦、長崎行　安東丸　五月二日後二時出帆
××◎群山、釜山、淸津行　潮州丸　五月三日後二時出帆
◎淸浦、群山、神戶、大阪行　須磨丸　四月廿一日後二時出帆
××◎鎭南浦、大連行　安東丸　四月廿七日後二時出帆
××◎大連直航　漁州丸　四月廿八日正午出帆
◎西湖津、淸津、城津行　宮島丸　四月廿九日後十二時出帆（九山出帆）
◎淸津行（九山出帆）安平丸　四月廿三日後十二時出
◎上海、基隆、打狗行（大連出帆）湖北丸　基隆丸　四月　五月三日前六時出帆
御注意　切符發賣所　大阪商船會社仁川支店　電話一二二〇番　仁川京城部　内國通運會社京城支店　電話七〇八番　大學旅館　電話二六一番

阿波共同汽船仁川出帆
伏見丸　四月廿二日午後入港　四月廿四日正午出帆
阿波共同汽船株式會社　仁川代理店　本町四丁目　野口商會　電話一七三番
元山代理店 田口回漕部　京城取次店 河村運送店

朝鮮郵船出帆
○江原丸　○京畿丸　○黃海丸　○成鏡丸　四月廿二日　五月四日　四月十九日　四月廿九日　釜山發
○穩城丸　○昌平丸　○鏡城丸　四月廿九日　四月　四月廿三日　元山發
○昌平丸　四月　日　元山發
○盛京丸　四月廿二日　釜山發
○江陵丸　每　日　釜山發
○襄陽丸　日　浦項
○三浪丸　四月廿四日　釜山發
○濟州丸　每日　釜山發
○平壤丸　四月廿二日　元山發
○咸興丸　四月廿三日　木浦發
○慶興丸　四月廿六日　木浦發
○公州丸　四月二十日　木浦發
○江原丸　四月　日　仁川發
○麗水丸　四月廿一日　仁川發
○晉州丸　四月　日　仁川發
○宗信丸　四月廿六日　仁川發
○全南丸　毎日午前　仁川發
本社電話長一九五二番　京城南大門通松原運送店（電話長一七〇番）